

平成26年度

酒々井の教育



酒々井町教育委員会

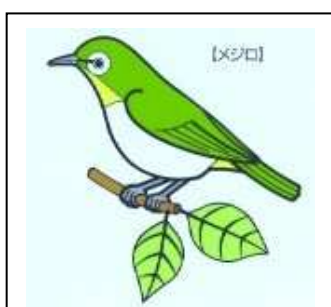
町民憲章

古い歴史と伝統をもつ新しい町酒々井は、輝く太陽の下、清らかな水と豊かな緑に包まれたわたくしたちのふるさとです。

わたくしたちは、この素晴らしい自然を守りながら、文化の香り高い調和のとれた田園都市をつくりあげるために町民憲章を定めます。

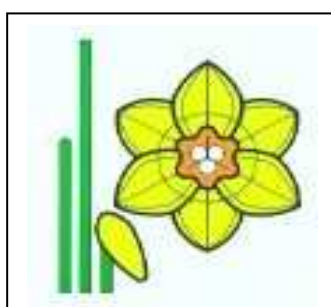
1. わたくしたちは、歴史を大切にし
自然を愛して美しいまちをつくりましょう。
1. わたくしたちは、若い力を育て
働くことを喜び豊かなまちをつくりましょう。
1. わたくしたちは、きまりを守り
他人を尊び明るいまちをつくりましょう。
1. わたくしたちは、老人を敬い
子供を慈しみ温かいまちをつくりましょう。
1. わたくしたちは、笑顔で接し
心の通う住みよいまちをつくりましょう。

(昭和49年11月3日制定)



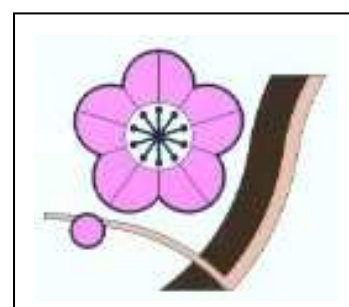
町の鳥「メジロ」

平成6年7月制定 豊かな自然との融合を表しています。



町の花「水仙」

平成元年3月制定 さわやかなプライドと明日への明るい希望を表しています。



町の木「梅」

昭和45年11月制定 伝統と気高さを表しています。

【表紙の写真】 教育委員会のイメージキャラクター 勝っタネ!くん

はじめに

酒々井町では、平成24年3月に、まちづくりの基本理念を「みんなが主役、未来へつなぐまちづくり」として掲げ、将来都市像を「人 自然 歴史が調和した活力あふれるまち 酒々井」とする「第5次総合計画」（計画年度は平成24年度から平成33年度）を策定しました。その中で、教育文化に関する基本目標を「豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり」と定め、その実現を目指し、4つの重点施策、15の推進目標からなる施策を展開しているところです。

学校教育の充実のために、施設面の整備では、各小中学校に太陽光発電設備を整備し、活用を開始しました。発電された電力は、電気の使用量の一部にあてるとともに、防災対応や、環境教育の生きた教材としてもその効果が期待されます。また、教育用パソコンを全面的に更新し、情報教育の充実をはかります。

人的支援としては、小学校における理科教育の充実のをはかるため、各小学校に、理科支援員を新たに配置します。また、インターネットの世界が、小中学生の間に無軌道に広がる危険が指摘される中、いじめ防止対策の一環としてネットパトロールを開始しました。

生涯学習を通じた町づくり・人づくりにも力をいれます。

子どもたちが学校以外で学ぶ場の設定として、夏季休業中に北海道陸別町児童交流事業を開始します。陸別町は、佐倉順天堂に学んだ関寛斎が入植開拓した土地で、「日本で一番寒い町」として知られています。様々な面で、酒々井町と対比的な陸別町に、酒々井町の次代を担う子どもたちを派遣し、異なる環境にふれ、体験する機会を得てもらいたいと考えました。また、小学校3・4年生を対象にした学びに親しむ場「こども青樹堂」を中央公民館で実施していましたが、「土曜日の教育支援体制等構築事業」として、対象を5・6年生まで拡大します。

成人対象の、公民館主催事業カレッジコースが、「酒々井町青樹堂」として生まれ変わり2年目となります。講座の充実とともに、まちづくり研究所や青樹堂師範塾卒業生などとも連携した「生涯学習まちづくりフォーラム」に代表されるような、まちづくりの実践者だけでなく指導者を育てる「学びのサイクル」の仕組みづくりに引き続き取り組みます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催も決まり、アウトレットの開業により酒々井を訪れる人も増えてきました。町民のみならずだけでなく、酒々井を訪れる多くの方に、この伝統ある酒々井町の歴史にふれていただくため、本佐倉城跡の整備をさらに進めます。

これらの酒々井町の具体的な教育施策や事務事業について御理解をいただくため、平成26年度「酒々井の教育」を刊行いたしました。また、教育委員会会議の会議録や委員の活動状況についても町ホームページに掲載しておりますので、併せてご覧いただければ幸いです。

平成26年9月

酒々井町教育委員会
教育長 落合 繁夫

目 次

酒々井町の概要

沿革、自然と地勢、交通	1
人口の推移、町名の由来	2

教育行財政

1 教育委員会	3
2 教育委員会組織	4
3 職員数	5
4 教育費	6
5 教育施策	9

学校教育

1 児童生徒の個性を生かす教育と生き生きとした学校生活の創造	15
2 社会の変化に対応した学校教育の推進	19
3 教職員の資質や指導力の向上	20
4 教育条件の整備	20
5 家庭との連携	21
6 幼児教育の支援	21
7 学校紹介	23
8 学校別児童生徒数の推移	26
9 学校給食センター	29

生涯学習

1 生涯学習の推進	31
2 青少年健全育成	33
3 人権教育	35
4 学校教育支援促進事業	36
5 土曜日の教育支援体制等構築事業	37
6 文化・芸術	38
7 スポーツ・レクリエーション	40
8 公民館	44
9 プリミエール酒々井	51

資 料

歴代教育委員	56
各種審議会・団体	57

酒々井町の概要

沿革

酒々井町は、中世室町時代に下総国の守護職であった千葉氏宗家の居城が千葉から酒々井の本佐倉に移され、以後100年余の間、下総地方を統治する中心的役割を果たした。江戸時代には、佐倉藩に属し、その城下町として、また、徳川幕府直轄の佐倉牧（野馬牧場）の野馬会所の地として、さらには成田山や芝山参詣客の宿場町として栄えた。そして明治22年に町村制が施行され、近隣16か町村が合併して酒々井町が誕生し、現在に至っている。

この間、農業を主産業として堅実な発展を遂げてきたが、鉄道や道路などの優れた都市機能、あるいは首都圏近郊整備地帯、成田国際空港に隣接するなど好立地条件を備えていたため、昭和40年代後半から50年代にかけて住宅開発とこれに伴う急激な人口増加により、住宅都市へと大きくその姿を変え、それまで6千人台であった人口も2万人を超える町へと発展した。

現在、平成24年度からスタートした「第5次総合計画」の前期基本計画に基づき輝きのあるまちづくりを進めている。

自然と地勢

酒々井町は、千葉県の北部、北総台地に位置し、面積は19.02平方キロメートルを有する。そして、都心から50キロメートル圏内にあり、北東は国際空港と門前町の「成田市」に、南西には、歴史と文化の城下町「佐倉市」に接している。

さらに気候は、極めて温暖で緑豊かな自然に包まれており、最適な生活環境となっている。



位置

方位	東経	北緯
極東	140° 18′	35° 44′
極西	140° 14′	35° 43′
極南	140° 16′	35° 41′
極北	140° 17′	35° 45′

役場の位置

東経 140° 16′ 22″
北緯 35° 43′ 18″

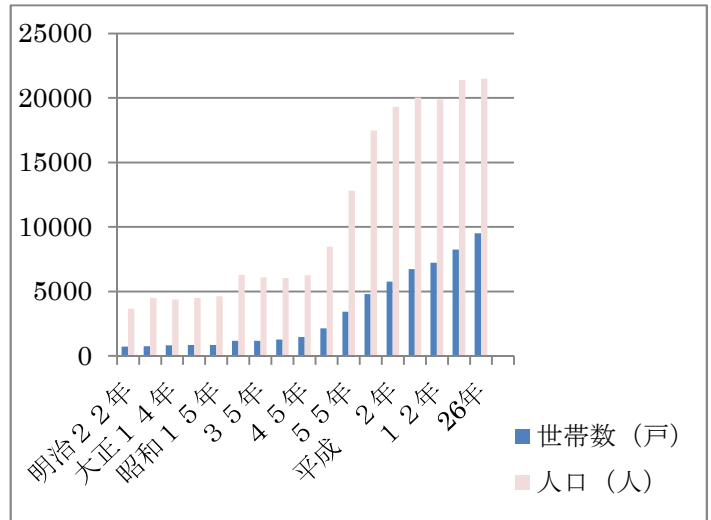
交通

鉄道は、JR成田線酒々井駅、JR総武本線南酒々井駅、京成電鉄酒々井駅・宗吾参道駅の3線4駅があり、都心や千葉市、成田国際空港を結んでいる。

道路は、国道51号・296号、県道3線が縦横に走り、県東部と千葉市や東京方面を結ぶ交通の要衝となっている。また、東関東自動車道の酒々井ICが南部地域に昨年4月に開設された。

人口の推移

	世帯数(戸)	人口(人)
明治 22年	720	3,644
大正 4年	756	4,501
14年	837	4,376
昭和 5年	850	4,507
15年	844	4,611
25年	1,168	6,279
35年	1,178	6,093
40年	1,272	6,040
45年	1,464	6,259
50年	2,136	8,465
55年	3,421	12,807
60年	4,801	17,463
平成 2年	5,754	19,298
7年	6,726	20,019
12年	7,225	19,885
17年	8,246	21,385
22年	8,571	21,234
26年	9,509	21,482



平成26年は4月1日現在

資料：国勢調査 酒々井町史

町名の由来 「酒の井」伝説

昔むかし、印旛沼の近くの村に年老いた父親と孝行息子が住んでおった。

父親は、たいそう酒好きで、親思いの息子は、うれしそうに酒を飲む父親見たさに、毎日生懸命働いて父親に酒をかっていたそう。

ところがある日、どうしても酒を買う金がつくれず、父親のがっかりした顔を思い浮かべながら、とぼとぼ帰り道を歩いていると、通り道にある井戸のそばからぷ〜んと酒の匂いがしてきたそうじゃ。息子は不思議そうに思ったが、「これで父親の喜ぶ顔が見られる」と、竹筒に酒を入れて大急ぎで持って帰ったそう。

父親は、「こんなうまい酒ははじめてじゃ」と、たいそうな喜びようじゃった。息子はそれから毎日、井戸から汲んでは飲ませてやったそう。ところが不思議なことに、この酒は親子以外の者が飲むとただの水になるしろものなんじゃ。そこで「これはきっと、孝行息子の真心が天に通じたにちがいない」と、みんなほめたたえたんじゃ。

この酒の井戸の噂が広まり、村の名もいつしか『酒々井』と呼ばれるようになったということじゃ。



地域の皆さんにより整備された酒の井の碑

教育行財政

1 教育委員会

(1) 教育委員

平成26年4月1日現在

役職名	氏名	就任年月日	任期
委員長	うらかべ きょうこ 浦壁 京子	平成21年3月24日	平成25年3月24日 ～平成29年3月23日
委員長 職務代理	こやま ゆうこ 小山 優子	平成15年10月1日	平成23年10月1日 ～平成27年9月30日
委員	つぼうち もときみ 坪内 東公	平成14年10月1日	平成22年10月1日 ～平成26年9月30日
教育長	おちあい しげお 落合 繁夫	平成25年4月1日	平成25年4月1日 ～平成29年4月21日

(2) 教育委員会会議

教育委員会会議は、原則として毎月1回開催します。また必要に応じて臨時の会議を開催することもあります。

なお、平成25年度の開催回数と審議した案件は次のとおりです。

会議の開催回数

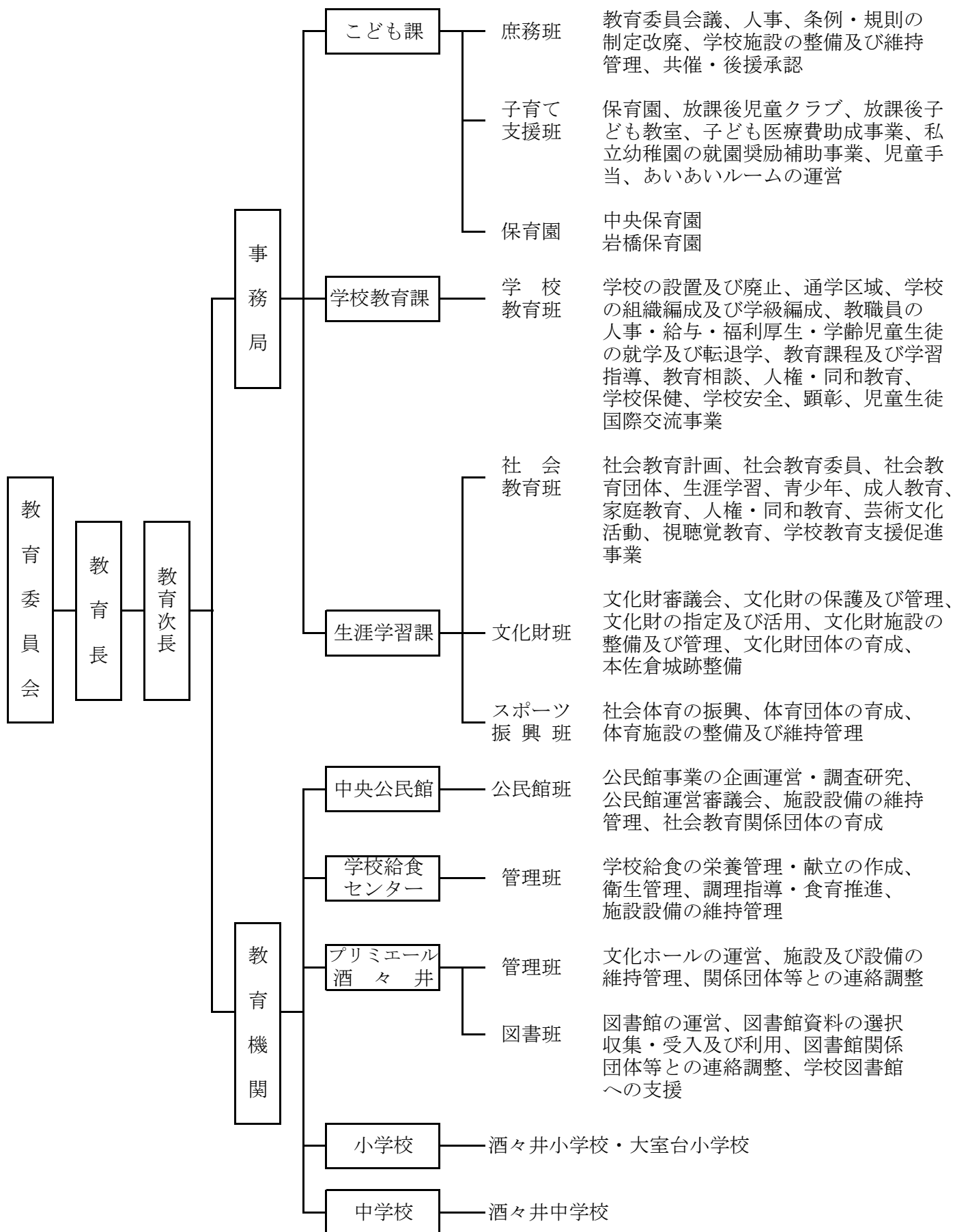
区別	定例会	臨時会	計
回数	12	0	12

審議した案件	件数
教育行政の運営に関する基本方針	1
教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃すること	4
予算その他議会の議決を要する事件の議案について町長に意見を申し出ること	6
教育に関する事務点検・評価に関すること	1
附属機関の委員を任命し又は委嘱すること	8
教育委員会の各表彰規程に基づく表彰	1
重要文化財の指定及び解除を行うこと	1
その他、重要又は異例に属する事項	5
計	27

(3) 放課後懇談会

教育委員会会議の他、委員による教育に関する諸問題の協議や小中学校等の先進地視察などを14回開催しました。

2 教育委員会組織



3. 職 員 数

	事 務 局				教 育 機 関					計
	教育長 教育次長	こども課	学校教育課	生涯学習課	中央公民館	学校給食 センター	ル 	小学校	中学校	
教育長	1									1
教育次長	1									1
課長・館長・園長・副参事		3	1	1	1		1			7
主幹・事務長・所長		6		2		1	1			10
副主幹		5	1	1	1					8
主 査		2	1	1	1					5
副主査		2		3	1	1	3			10
主任主事・主任保育士		2		1						3
主事・保育士		2								2
指導主事			2							2
社会教育主事										0
栄養士						2(2)				2
用務員								2<2>	1<1>	3
教育アドバイザー			2<2>							2
学校適応専門相談員			2<2>							2
外国語指導助手			2<2>							2
スクールカウンセラー									1(1)	1
スクールサポート指導員								2<2>	1<1>	3
スクール支援員								2<2>		2
特別支援学級介助員								2<2>	1<1>	3
学校図書館アシスタント								2<2>	1<1>	3
家庭教育指導員				1<1>						1
社会教育指導員					2<2>					2
発掘調査員										0
調理員						委託14				14
ボイラー技師						委託1				1
配膳員						委託6				6
給食配送運転手						委託2				2
司書助手							8<8>			8
文化ホール機械操作員							2<2>			2
臨時職員		41<41>		9<9>	12<12>					81
計	2	63<41>	11<6>	37<28>	19<10>	4(2) 委託 23	15<10>	10<10>	5(1) <4>	189

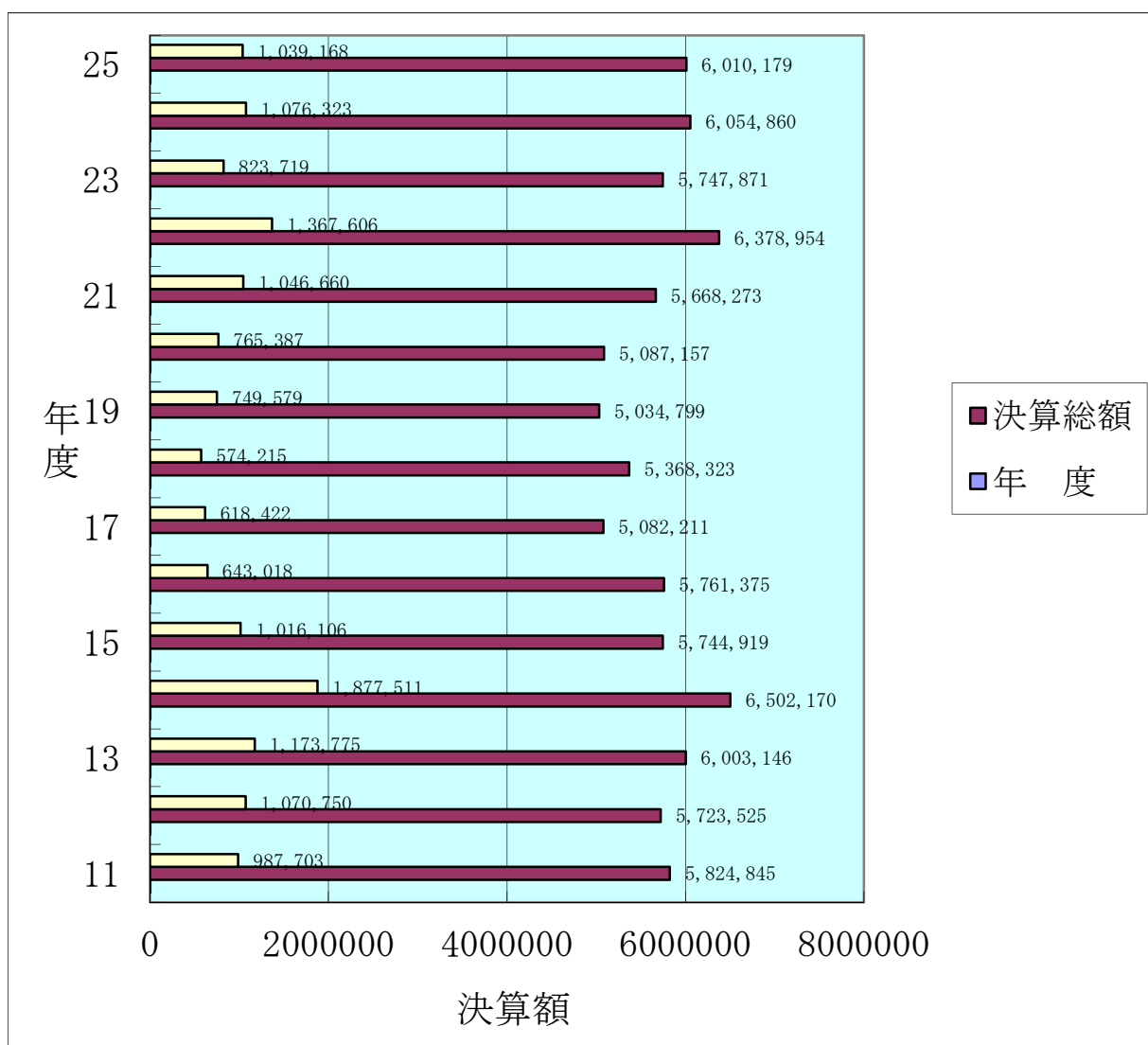
※ () は県費負担職員 内書 < > は非常勤職員・臨時職員 内書

4 教 育 費

(1) 平成11年度以降の一般会計決算額と教育費

単位：千円

年 度	決算総額	教育費	構 成
11	5,824,845	987,703	17.0%
12	5,723,525	1,070,750	18.7%
13	6,003,146	1,173,775	19.6%
14	6,502,170	1,877,511	28.9%
15	5,744,919	1,016,106	17.7%
16	5,761,375	643,018	11.2%
17	5,082,211	618,422	12.2%
18	5,368,323	574,215	10.7%
19	5,034,799	749,579	14.9%
20	5,087,157	765,387	15.0%
21	5,668,273	1,046,660	18.5%
22	6,378,954	1,367,606	21.4%
23	5,747,871	823,719	14.3%
24	6,054,860	1,076,323	17.8%
25	6,010,179	1,039,168	17.3%

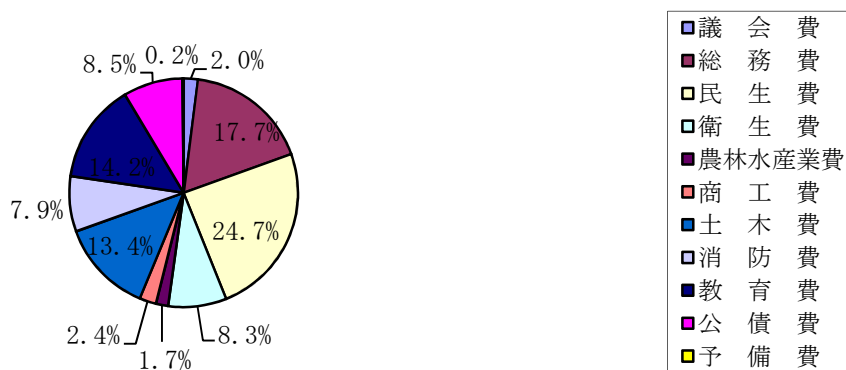


(2) 平成26年度の一般会計歳出予算額と教育費

単位：千円

	構成比	予算額
議会費	2.0%	118,851
総務費	17.7%	1,039,431
民生費	24.7%	1,449,790
衛生費	8.3%	488,611
農林水産業費	1.7%	102,338
商工費	2.4%	109,586
土木費	13.4%	785,934
消防費	7.9%	465,450
教育費	14.2%	835,376
公債費	8.5%	457,938
予備費	0.2%	10,000
歳出合計	100.0%	5,863,305

一般会計の科目別構成比



単位：千円

	構成比	予算額
教育総務費	36.5%	304,956
小学校費	9.5%	78,988
中学校費	6.5%	54,269
社会教育費	23.2%	193,668
保健体育総務費	24.4%	203,495
合計	100.0%	835,376

教育費の内訳



(3) 教育費予算

単位：千円

	平成26年度		平成25年度		比較
	予算額	構成比	予算額	構成比	
1. 教育総務費	304,956	36.5%	309,849	36.3%	△ 4,893
(1) 教育委員会費	2,036	0.2%	2,036	0.2%	0
(2) 事務局費	302,920	36.3%	307,813	36.1%	△ 4,893
2. 小学校費	78,988	9.5%	61,701	7.2%	17,287
(1) 学校管理費	62,020	7.4%	44,075	5.2%	17,945
(2) 教育振興費	16,968	2.0%	17,626	2.1%	△ 658
3. 中学校費	54,269	6.5%	35,217	4.1%	19,052
(1) 学校管理費	41,006	4.9%	22,119	2.6%	18,887
(2) 教育振興費	13,263	1.6%	13,098	1.5%	165
4. 社会教育費	193,668	23.2%	231,784	27.2%	△ 38,116
(1) 社会教育総務費	45,365	5.4%	51,539	6.0%	△ 6,174
(2) 文化財保護費	13,273	1.6%	36,648	4.3%	△ 23,375
(3) 公民館費	52,120	6.2%	63,805	7.5%	△ 11,685
(4) 青少年健全育成費	3,426	0.4%	1,085	0.1%	2,341
(5) 同和集会所費	1,050	0.1%	1,003	0.1%	47
(6) プリミエール運営費	78,434	9.4%	77,704	9.1%	730
5. 保健体育費	203,495	24.4%	215,077	25.2%	△ 11,582
(1) 保健体育総務費	24,606	2.9%	23,099	2.7%	1,507
(2) 体育施設費	826	0.1%	1,007	0.1%	△ 181
(3) 健康体力づくり費	0	0.0%	450	0.1%	△ 450
(4) 給食センター費	178,063	21.3%	190,521	22.3%	△ 12,458
合 計	835,376	100%	853,628	100%	△ 18,252

5 平成26年度 酒々井町教育施策

1 酒々井町総合計画の基本目標

教育文化 豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり

町の将来を担う子どもたちが、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた「生きる力」を身に付けることができるよう学校教育に取り組むとともに、学校・家庭・地域社会の連携による教育の充実を図ります。

また、町民一人ひとりが学習意欲を持ち、生きがいを感じながら生涯にわたり学び続けるための環境づくりと、学習成果を地域に還元できる、生涯学習を推進します。

町民の誰もが、歴史と文化、自然豊かな“郷土・酒々井”に愛着と誇りを持ち、「酒々井で育ってよかった」、「酒々井に住んでよかった」と思えるよう、豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくりを進めていきます。

2 教育委員会の基本理念

町教育委員会は、町民の誰もが、歴史と文化、そして、自然豊かな“郷土・酒々井”に愛着と誇りを持ち、しなやかに すこやかに いきいきと 暮らすことのできるまちづくり＝ひとづくりをめざします。

しなやかに・・・ すこやかに・・・ いきいきと・・・

しなやかに・・・ しなやかな感性、すぐれた知性を育てる教育

たくましさとしなやかさを併せ持つとともに、**確かな学力・豊かな心・健やかな体**の調和のとれた「生きる力」を育みます。

すこやかに・・・ すこやかな心と体を生涯にわたって育む教育

心身ともに健やかな生活を送るため、生涯にわたって自ら学び、その成果を生かすことができるよう、生涯学習を推進します。

いきいきと・・・ いきいきとした学びをみんなで実現する教育

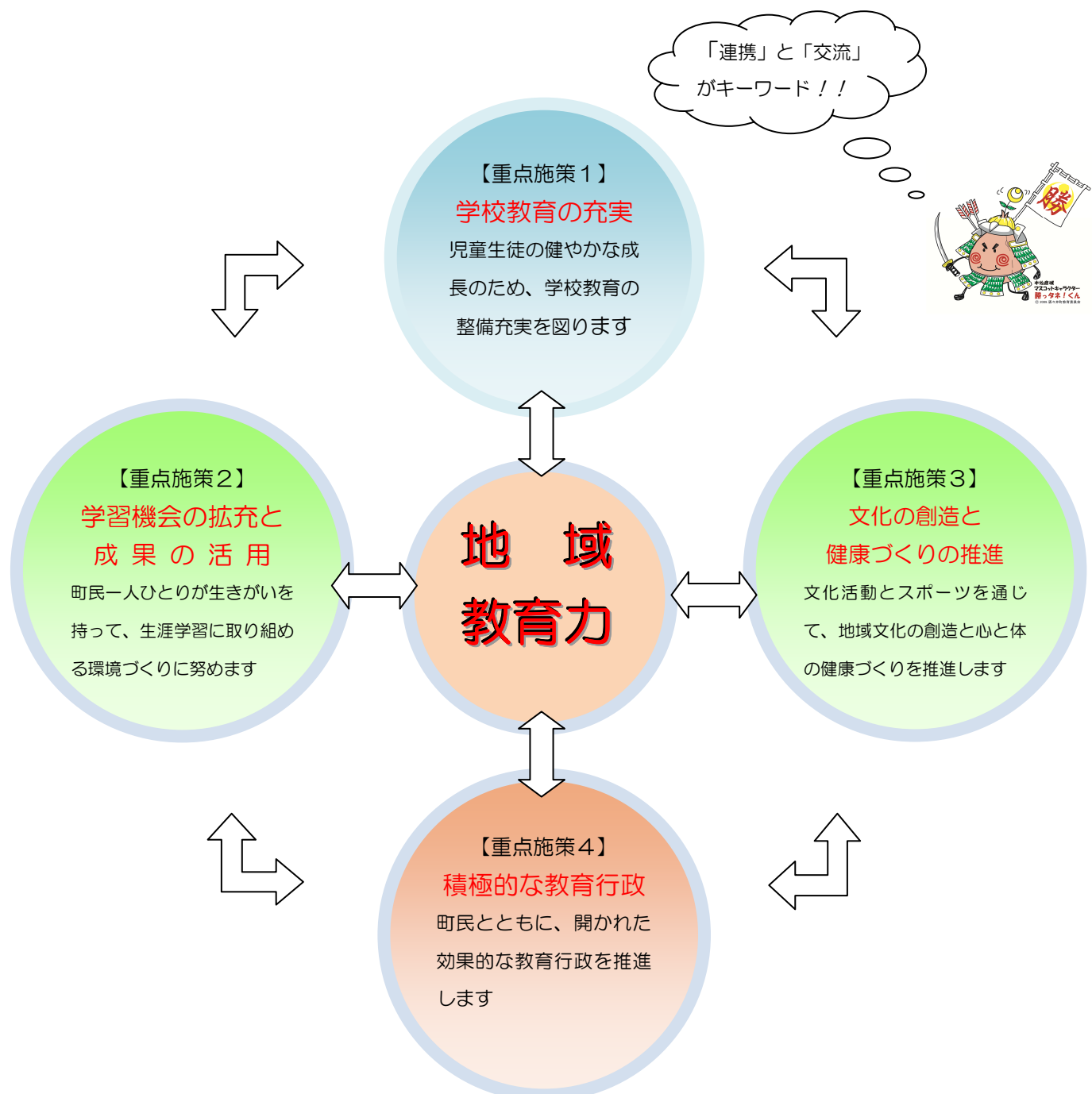
学校、家庭、地域、行政などがそれぞれの役割を自覚するとともに、酒々井の教育に積極的に参画・連携し、お互いの心が響き合う町民総がかりの教育を進めます。

3 重点施策

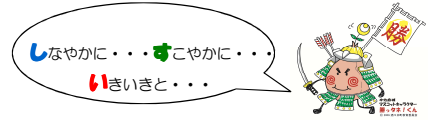
基本理念に基づく重点施策を効果的に推進するためには、「地域の子どもは、地域で守り、育てていこう」「まちづくりのために、町民一人ひとりが、できることをできるときにしていこう」という地域の教育力が不可欠です。

これらの施策に積極的に取り組むことにより、地域教育力のさらなる向上をめざします。

しなやかに・・・ すこやかに・・・ いきいきと・・・



平成26年度 教育施策体系図



将来都市像

基本目標

基本理念

重点施策

推進目標

主な事業

一

人
自然
歴史が調和した活力あふれるまち
酒々井

豊かな心を育み歴史を活かした文化創造のまちづくり
教育文化

しなやかに...
すこやかに...
いきいきと...

地域
教育
力の
向上

1 学校教育の充実

- (1) 学校施設や教育条件の整備充実
- (2) 幼児教育への支援
- (3) 学校運営の支援
- (4) 特色ある教育活動の推進
- (5) 安全・安心な教育環境の整備
- (6) 教職員の資質向上
- (7) 食育の推進

2 学習機会の拡充と成果の活用

- (1) 生涯学習事業への参加促進
- (2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援
- (3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実

3 文化の創造と健康づくりの推進

- (1) 文化活動の推進
- (2) 文化財の保存整備と普及・活用
- (3) スポーツ・レクリエーションの促進

4 積極的な教育行政

- (1) 教育委員会会議の活性化
- (2) 教育機関、各種団体等との連携協力
- (3) 積極的な広報活動

- (1) ①小中学校教育用パソコン新規切替 ②中学校職員室床改修工事
③学校図書館の充実 ④就学援助事業 ⑤調理機器等の保守及び計画的な更新
- (2) ①私立幼稚園就園奨励費補助金の支給、私立幼稚園運営費・教材費の助成
- (3) ①スクールサポート指導員の配置 ②特別支援教育の充実
③保育園、小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実の活用 ⑤図書館教育の充実 ⑥学校適応専門相談員の配置
⑦小学校スクール支援員（理科）の配置
- (4) ①人権・同和教育の推進 ②教職員の特色ある教育活動の支援
③保小中連携推進事業の推進 ④豊かな心を育むCTSプラン事業の推進 ⑤中学生国際交流派遣事業の推進
- (5) ①いじめ防止対策の推進 ②ネットパトロールの実施 ③スクールバスの運行 ④学校における「食物アレルギー対応の手引き」の活用
⑤食材放射線測定器による食材の定期的な計測
- (6) ①教職員研修の充実
- (7) ①栄養士による栄養指導の充実 ②栄養教諭による家庭科授業の参加
- (1) ①家庭教育学級の充実 ②子ども会活動の活性化
③人権教育セミナーの開催 ④順天堂大学生涯学習公開講座
⑤青少年相談員活動の充実 ⑥成人式の開催 ⑦盛年式の開催
⑧北海道陸別町児童交流事業の実施
⑨生涯学習を通じたまちづくりフォーラムの開催（町長事務局共催）
- (2) ①学校教育支援促進事業の充実 ②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施（こども青樹堂） ③公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用 ④公民館施設の円滑な運営
- (3) ①公民館施設の維持管理 ②公民館の計画的な改修 ③プリミエール酒々井の各種機器等の維持管理 ④図書等の蔵書資料の充実
⑤読書推進のための講演会の実施（プリミエール10周年事業）
- (1) ①文化協会への助成 ②郷土研究会への助成
- (2) ①本佐倉城跡整備事業の実施 ②ボランティアガイドの育成
③史跡ウォーキングの実施 ④文化財管理及び歴史的文献の活用 ⑤まちの顔づくり推進事業
- (3) ①各種スポーツ教室・大会の開催 ②第65回印旛都市体育大会の開催 ③活動の場となる体育施設の整備の検討
- (1) ①教育委員会会議の工夫、公開 ②教育委員研修、放課後懇談会の充実
- (2) ①順天堂大学との相互協力 ②スクールボランティアによる学校支援
③キャリア教育の推進 ④学校給食における地産地消の積極的な取組み
- (3) ①ホームページの充実 ②勝っタネ！くんの活用

推進目標

重点施策1 学校教育の充実

【推進目標】

- (1) 学校施設や教育条件の整備充実（こども課・学校教育課・給食センター）
 - ア 小中学校教育用パソコン新規切替
 - イ 中学校職員室床改修工事
 - ウ 学校図書館の充実
 - エ 調理機器等の保守及び計画的な更新
- (2) 幼児教育への支援（こども課）
 - ア 私立幼稚園就園奨励費補助金の支給、私立幼稚園運営費・教材費の助成
- (3) 学校運営の支援（学校教育課）
 - ア スクールサポート指導員の配置
 - イ 特別支援教育の充実
 - ウ 保育園、小学校の英語活動、中学校の英語指導の充実
 - エ A L Tの活用
 - オ 図書館教育の充実
 - カ 学校適応専門相談員の配置
 - キ 小学校スクール支援員（理科）の配置
- (4) 特色ある教育活動の推進（学校教育課）
 - ア 人権・同和教育の推進
 - イ 教職員の特色ある教育活動の支援
 - ウ 保小中連携推進事業の推進
 - エ 豊かな心を育むC T Sプラン事業の推進
 - オ 中学生国際交流派遣事業の推進
- (5) 安全・安心な教育環境の整備（学校教育課・給食センター）
 - ア いじめ防止対策の推進
 - イ ネットパトロールの実施
 - ウ スクールバスの運行
 - エ 学校における「食物アレルギー対応の手引き」の活用
 - オ 食材放射線測定器による食材の定期的な計測
- (6) 教職員の資質向上（学校教育課）
 - ア 教職員研修の充実
- (7) 食育の推進（給食センター）
 - ア 栄養士による栄養指導の充実
 - イ 栄養教諭による家庭科授業の参加

重点施策2 学習機会の拡充と成果の活用

【推進目標】

- (1) 生涯学習事業への参加促進（生涯学習課）
 - ア 家庭教育学級の充実
 - イ 子ども会活動の活性化
 - ウ 人権教育セミナーの開催
 - エ 順天堂大学生涯学習公開講座の開催
 - オ 青少年相談員活動の充実
 - カ 成人式・盛年式の開催
 - キ 北海道陸別町児童交流事業の実施
 - ク 生涯学習を通じたまちづくりフォーラムの開催（町長部局共催）
- (2) 学習機会の拡充及び学習活動の支援（学校教育課・中央公民館）
 - ア 学校教育支援促進事業の充実
 - イ 土曜日の教育支援体制等構築事業の実施（こども青樹堂）
 - ウ 公民館主催の各種講座の拡充と学習成果の活用
 - エ 公民館施設の円滑な運営
- (3) 教育機関の施設整備及びサービスの充実（中央公民館・プリミエール酒々井）
 - ア 公民館施設の維持管理
 - イ 公民館の計画的な改修
 - ウ プリミエール酒々井の各種機器等の維持管理
 - エ 図書等の蔵書資料の充実
 - オ 読書推進のための講演会の実施（プリミエール10周年事業）

重点施策3 文化の創造と健康づくりの推進

【推進目標】

- (1) 文化活動の推進（生涯学習課）
 - ア 文化協会・郷土研究会への助成
- (2) 文化財の保存整備と普及・活用（生涯学習課）
 - ア 本佐倉城跡整備事業の実施
 - イ ボランティアガイドの育成・活用
 - ウ 史跡ウォーキングの実施
 - エ 文化財管理及び歴史的文書保存の利活用
 - オ まちの顔づくり推進事業
- (3) スポーツ・レクリエーションの促進（生涯学習課）
 - ア 各種スポーツ教室・大会の開催
 - イ 第65回印旛郡市民体育大会の開催
 - ウ 活動の場となる体育施設の整備の検討

重点施策4 積極的な教育行政

【推進目標】

- (1) 教育委員会会議の活性化（こども課）
 - ア 教育委員会会議の工夫、公開
 - イ 教育委員研修、放課後懇談会の充実
- (2) 教育機関、各種団体等との連携協力（学校教育課・給食C）
 - ア 順天堂大学との相互協力
 - イ スクールボランティアによる学校支援
 - ウ キャリア教育の推進
 - エ 学校給食における地産地消の積極的な取り組み
- (3) 積極的な広報活動
 - ア ホームページの充実
 - イ 勝っタネ！くんの活用



学 校 教 育

1. 児童生徒の個性を生かす教育と生き生きとした学校生活の創造

(1) 創意ある教育課程の推進

児童生徒の実態や地域の実情を生かした特色ある学校づくり、学習への興味・関心を培う教育、社会人の活用などにより、創意ある教育活動の推進に努める。

① 「学習指導要領」に基づく教育活動の充実

各小・中学校が独自性を発揮しながら、全教育活動を通じて「人生を拓く確かな学力」「思いやりのある豊かな心」「活力にあふれる健やかな体」をはぐくみ、「言語活動と体験活動の充実」を図りつつ、「発達の段階に応じたキャリア教育」「地域とともに歩む学校づくり」を進める教育活動を展開する。



② 少人数指導の充実

基礎的基本的な内容の確実な定着をねらい、習熟の程度に応じた少人数指導を、算数・数学、英語を中心にして行い、個に応じたきめ細かな指導を推進する。

③ 総合的な学習の時間の充実

スクールボランティア等外部人材の活用を図りながら、各学校の創意工夫のもとに、総合的な学習の時間等に取り組み、体験的な学習を通して、生きる力の育成に努める。

④ スクールサポート指導員の配置

スクールサポート指導員を各学校に配置し、特色ある教育活動を支援する。各学校では、英語及び数学の少人数指導や特別支援教育、適応指導・教育相談における支援者として児童生徒の指導にあたる。

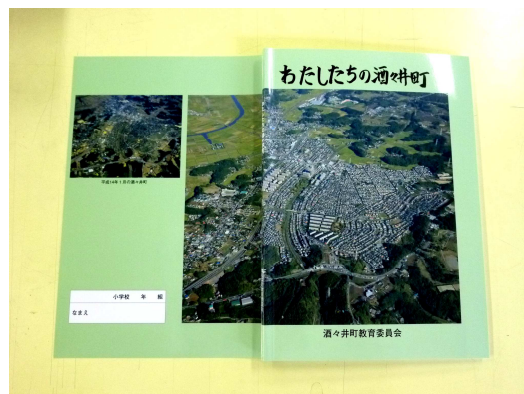


⑤ 学校評価の実施

学校運営における Plan (計画) - Do (実施) - Check (評価) - Action (改善) のサイクルを確立するために、各学校の実情に応じた評価項目を設定し、自己評価・外部評価を行うとともに、学校評議員制度を活用し、評価結果を学校運営に活かす。

⑥ 社会科副読本の活用

平成23年3月に発行した小学校3・4年生用社会科副読本「わたしたちの酒々井町」を活用し、子どもたちの町への関心を高めるとともに、町の理解を深め、郷土意識を育む。



(2)教育相談・生徒指導の充実

いじめ、不登校など児童生徒に関わる諸問題への積極的な対応を図り、生徒指導上の課題の解決をめざす。

①生徒指導担当者、教育相談担当者の活動の充実

「心の教育推進会議」を開催し、生徒指導上の諸問題について協議し、各学校における生徒指導の一層の充実と学校間の連携を図る。また、個別の問題行動や不登校の児童生徒に関する「ケース会議」を開き、スクールカウンセラーを講師に対処方法について協議することで、より実践的な取り組みを進める。

②教育相談事業の充実

町の教育相談のネットワークを整備し、スクールカウンセラー（中学校）、不登校支援教員（中学校）、教育アドバイザー及び学校適応専門相談員（町教委）のそれぞれの専門性を生かし、各学校の生徒指導主任、教育相談担当、養護教諭、学級担任と連携して教育相談体制の確立に努める。

③教育支援センター（適応指導教室）の充実

不登校児童生徒の集団生活への適応力の向上を図り、在籍校への復帰を支援するために、酒々井町教育支援センター「ふれあいルーム」を設置し、学校適応専門相談員を配置して、積極的に訪問し、適応指導の支援・助言を行う。



(3)人権・同和教育の推進

酒々井町は平成7年12月8日に「あらゆる差別撤廃・人権尊重都市」宣言をしている。人権・同和教育の推進・充実は学校教育の責務であり、その推進を図るための講演会、授業研修会などを開催するほか、指導資料を刊行し、全教職員が共通の認識のもとに教育活動を進める。

①人権・同和教育担当者会議の開催

人権・同和教育の推進を図るため、各学校の人権・同和教育担当教員、教育委員会担当者による定例会議を月1回開催し、人権・同和教育担当教員の指導力の向上に努め、町内の教職員研修会の企画・運営、各学校の人権・同和教育の実践について協議し、連携・推進を図る。

②人権・同和教育研修会の開催

酒々井小学校を人権・同和教育推進校に指定し、研究・推進の中核をなすとともに、学校の夏季休業中に全教職員を対象にした人権・同和教育研修会を開催する。

③「酒々井町の人権・同和教育」の刊行

各学校の人権・同和教育の実践についてまとめ、人権・同和教育推進資料「酒々井町の人権・同和教育（第25集）」を刊行し、研修・実践に活用する。また、町内3校の児童生徒による「小中学生人権作文集」を刊行、全家庭に配布し、児童生徒および保護者の人権意識の高揚に努める。

(4)保小中連携推進事業の充実

保・小学校間、小・中学校間で相互の連携を推進し、学習の継続性や持続性の円滑化・生徒指導の共通理解等を図ることにより、教員の児童生徒理解を深め、指導方法教育課程、学校運営についての改善を進める。

①小中連携指導5項目の実践化

保小中連携推進協議会を中心に設定した「小中連携指導5項目」を各学校職員、児童生徒、保護者、地域に向けて周知し、共通の指導方針を持って児童生徒の指導にあたる。

②2つの専門部による連携・指導の推進

小・中学校間においては、「研究・研修部」「生徒指導部」の2つの専門部をおき、児童生徒の指導をめぐる課題を協議するとともに、その解決・改善に向けて取り組む。

③学習の継続性に係る連携の推進

「教科等分科会」を設け、小・中学校それぞれの教科の指導内容に踏み込んで研修を進め、小・中学校間の学習の継続性を念頭においた指導にあたる。



(5)特別支援教育の充実

LD、ADHD、高機能自閉症などの発達障害を含めた特別な支援を必要とする児童生徒の自立や社会参加に向けて、その一人一人の教育的ニーズに応じた教育的支援を行う。

①各学校の特別支援教育コーディネーターを核にした支援体制の確立

校長のリーダーシップのもと特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を組織し、個々の児童生徒の実態を理解するとともに、個別の指導計画を立て、全教職員による必要な支援を行うよう努める。

②就学指導委員会の充実

酒々井町心身障害児就学指導委員会を年3回開催し、個々の障害の理解と各学校の支援体制の確立を図りつつ、児童生徒の将来を見据えた適正な就学指導を進める。

③特別支援学級における個別指導の充実

各小中学校に介助員を配置し、個々の教育的ニーズに応じた支援の充実を図る。

④特別支援連携協議会の充実

新就学児童に係る情報を共有し、個々の教育的ニーズに応じた支援方法について協議するために特別支援連携協議会を年2回開催し、関係機関との連携を図る。



(6)読書指導・図書館教育の充実

公共図書館（プリミエール酒々井）と学校図書館との連携を図り、児童生徒の読書活動の充実と図書館活用能力の育成に努める。

- ① 町内3校の学校図書館に司書業務を行うアシスタントを配置するとともに、学校間連携、学校と公共図書館連携を進める。これらの人的配置により、学校図書館の機能の充実・強化と児童生徒の指導の支援を行う。
- ② 児童生徒の生涯にわたる読書習慣の形成と図書館活用能力（情報活用能力）の育成を図るため、各学校の朝読書や授業における調べ学習等の指導・支援を行う。



(7)健康・安全教育の充実

児童生徒が自他の命を尊重し、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培い、安全で安心な学校づくりのため、学校保健・学校安全・学校給食などの各分野の充実を図る。

①養護教諭会議と研修会の充実

薬物乱用防止教育の推進、AED研修会の実施等、日々の保健指導等を通して、養護教諭が健康・安全教育の中核を担うとともに、生徒指導面においてもその役割を果たせるよう研修に努める。

②学校安全への取り組みと通学路の改善

児童生徒にとって学校が常に安全に生活できる場として機能できるよう、施設設備の安全点検、不審者対応の訓練・指導に努める。

また、地域の防犯ボランティアや保護者と協力し、登下校時の児童の安全確保に努めるとともに教育アドバイザーが中心となりスクールガードとして通学路の点検や通学路安全マップの見直しなど学校安全についての指導・助言を行う。

さらに、新就学の児童には、半額補助により防犯ブザーの購入・携帯をすすめる。

③学校給食を活用した食育の充実

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、また、食に関する指導の「生きた教材」となるよう



献立内容の充実を図る。また、酒々井産農産物を活用したり、栄養教諭による給食時の教室訪問などを行い、子どもの望ましい食習慣の形成や食に関する理解の促進に努める。

2. 社会の変化に対応した学校教育の推進

(1) 情報化・国際化に対応した学校教育の推進

情報化・国際化の進展する中で、情報や情報機器を選択して活用する資質や能力を育成するためにコンピュータの効果的活用を図るとともに、英語に対する興味、関心を培うために小学校における外国語活動を推進する。また、中学生によるオーストラリアへの国際交流派遣事業を実施する。

① コンピュータ教育の充実

各学校ともコンピュータ室や各教室などに計画的なICT整備を推進し、日常の学習活動に役立てると同時に、情報モラルやネット上のマナー指導に努める。

また、コンピュータや電子黒板などのICTを活用した効果的な授業実践を目指した教職員の研修も各学校で計画的に進める。

② ALT（外国語指導助手）の活用推進

ALT活用担当者会議を通して、小・中学校の外国語活動のねらいと指導方法についての実践的な取り組みについて研究する。

また、平成24年度より、小学校1～4年生にもALTを導入し、小中学校9年間を通した外国語活動・国際理解教育を推進する。そのため、ALT（外国語指導助手）を直接雇用するとともにその活用方法について共通理解を図る。

③ 国際交流派遣事業の実施

国際化に対応できる人材の育成を図るため、中学生を海外へ派遣し、ホームステイや学校での体験学習を通して、英語力を育成するとともに異文化理解を深める国際交流派遣事業を平成24年度から実施する。

(2) キャリア教育の推進

児童生徒の発達の段階に即した勤労観・職業観を育成するために、「キャリア教育推進協議会」を設置し、町商工会やライオンズクラブ、町役場総務課・経済環境課との連携を図りつつ、学校教育への組織的な支援を進める。



3. 教職員の資質や指導力の向上

(1) 教職員研修の充実

社会の変化と学校教育の担う課題に適切に対応できるよう、教職員の資質と指導力の向上をめざし、研修の充実に努める。

(2) 教職員の健康管理の充実

教職員が健康で充実した教育活動を行えるように、定期健康診断と学校医のアドバイスにより教職員自らの健康意識の高揚を図る。



4. 教育条件の整備

(1) 豊かな心を育むCTSプラン事業

新しい教育課題に積極的に取り組み、教育活動の充実に資するため、豊かな心を育むCTS（Child, Teacher, School-Society）プラン推進委員会を通じ各学校に補助金を交付する。

(2) 学校図書館の充実

町独自で配置している学校図書館アシスタントを中心に学校図書館の環境整備・充実に努めるとともに運営を工夫することにより、児童生徒が利用しやすい図書館づくりを進める。



(3) 各種就学援助事業

小・中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するとともに特別支援教育の振興に資することを目的に、特別支援教育就学奨励費の援助を行う。また、経済的理由により就学困難と認める児童生徒の保護者に対し、要保護及び準要保護児童生徒の就学援助費を支給する。



(4) スクールバス運行委託事業

墨地区、伊籾・伊籾新田地区、馬橋地区から酒々井小学校に通学する児童の登下校時の交通手段を確保するため、社会福祉協議会に委託し、町ふれあいタクシーを利用したスクールバスを運行する。

(5) 教職員の特色ある教育活動支援事業

各学校の特色ある教育活動の積極的な推進を図る



ため、各学校の教職員が提案する教育プランにおいて、児童生徒への教育効果が期待できる提案に対し、補助金を交付する。

5 家庭との連携

(1)「家庭学習の手引き」の作成・配布

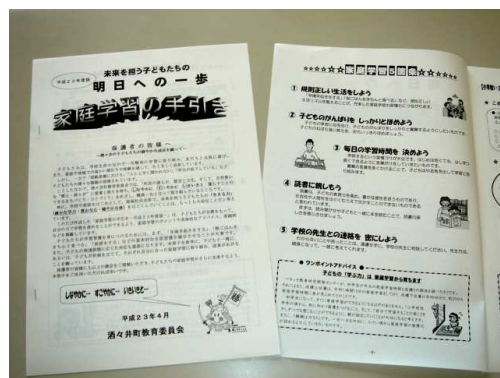
「家庭学習の手引き」を改訂し、小中学校新入学児童生徒家庭に配布する。これにより、家庭学習の充実を図り、学校と家庭の連携による「児童生徒の『確かな学力の向上』」に努める。

(2)家庭学習の充実

酒々井中学校では上述した「家庭学習の手引き」をより詳しく、学年別、教科別に示した学習ガイダンス「学びの羅針盤」を一昨年度作成し、今年度修正を加え改訂した。

この中には、学習の目標や方法、ノートの取り方などが具体的に示されており、生徒が家庭学習を行う上で大いに参考になる。

また、今年度、小学校版として「学びのガイドブック」を作成し、小学5・6年生に配布した。これにより、小中学校の連携を図りつつ家庭学習への支援が可能となった。



6. 幼児教育の支援

(1)適切な就学指導の推進

就学前の幼児を持つ保護者を対象に就学相談を行う。

(2)私立幼稚園就園奨励費補助事業の実施

幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園へ通園する園児の保護者に対し、所得状況に応じて保育料等の一部を補助する。

(3)私立幼稚園運営費・教材費補助事業の実施

私立幼稚園の運営費・教材費に対して補助する。

(4)幼児ことばの教室「プラム」の実施

今年度より、保健センターにおいて、ことばに障害のある幼児を対象に言語聴覚士による言語指導・教育相談を実施する。



(5)町立保育園での国際理解教育の推進

平成24年度から、町立保育園では、英語指導者（専門業者委託）により毎週1回、クラス別に15分間の英語活動を行う。



7 学校紹介

1. 酒々井小学校

所在地 酒々井203番地
電話 496-1041
開校 明治41年
校長 藤原 聖士
(平成25年度就任)

児童数	551人 [5月1日現在]
学級数	21 (特3含む) 学級
職員数	42人 (町職を含む)



里山フォーラムの方々のご協力で収穫祭(餅つき)を実施

●経営の重点

【教育目標】

人間尊重の精神に徹し、豊かな人間性と健やかな心身を持つ実践力のある「酒々井小の子ども」の育成

【めざす児童像】 … 「し」んせつな子 「す」なおな子 「い」っしょうけんめいがんばる子

(アクション1)「学習にねばり強く取り組む子」の育成

・授業の充実 ・家庭学習の充実 等

(アクション2)「進んで運動する子」の育成

・汗をかく体育の実践 ・体育カードの充実 等

(アクション3)「優しく思いやりのある子」「自他の命を大切にする子」の育成

・ふれあい活動の更なる充実 ・児童を主体とした特別活動の推進 等

(アクション4)「明るい笑顔、すてきな挨拶が飛び交う学校」の推進

・保小中学校連携5項目の積極的な推進 ・教育相談の継続実施
・美しい学校づくり(花のある学校・掃除の行き届いた学校)

(アクション5)「美しい歌声が飛び交う学校」の推進

・朝の歌活動の充実 ・音楽集会の更なる充実 ・オータムコンサートへの参加

●学校の特徴

- (1) 異学年交流「ふれあい活動」により望ましい人間関係を育成する。1年生から6年生までの異学年グループを作って、一緒に遊び、給食を食べ、清掃活動を行う。日常的な人権・同和教育の実践活動として考える。
- (2) 児童一人ひとりの努力とやる気を引き出し、基礎学力を定着させる。そのため少人数指導・習熟度別指導を実態に応じて全学年で取り組む。
- (3) 学校支援地域本部を中心に、家庭・地域社会との連携を緊密にして豊かな体験活動を実現する。本の読み聞かせや総合的な学習の時間におけるハーブ学習、5年生の米作り・収穫祭、園芸委員会の活動等で保護者や地域のボランティアが教育活動に参加できるようにする。
- (4) 豊かな自然と歴史が伸びやかな心を育む。学校は中世の城下町「酒々井宿」跡にあり、近くには本佐倉城跡が整備されている。文化財と豊かな森に囲まれた学舎は、生活科や総合的な学習の時間における学習材となり、児童の財産でもある。

2. 大室台小学校

所在地 尾上2番地の2

電話 496-5281

開校 昭和57年

校長 新垣 豊彦

(平成25年4月就任)

児童数	576人[5月1日現在]
学級数	21(特3含む)学級
職員数	36人



●経営の重点

教育目標

心豊かで、ともに学ぶたくましい子の育成

相手を思いやる子ども・進んで学習する子ども・何事にも挑戦し互いに磨きあう子ども

- (1) 学力の向上を図る。
- (2) 人権尊重の精神を養い、特別支援教育の充実を図る。
- (3) 子どもの自己実現を支援する。
- (4) 子どもの健康安全に配慮し一人一人の体力の向上を図る。
- (5) 家庭・地域と共に子どもを育てる環境づくりを進める。
- (6) 安全で明るい学校環境づくりを進める。



地域の協力による体験学習

(交番見学)

●学校の特徴

- (1) 学校支援地域本部の活動による地域の方々や保護者ボランティアの協力を得て、学習支援・環境支援・英語学習環境づくり支援などを進めている。また、地域の人材を学校教育に積極的に生かすとともに、地域に根ざした魅力溢れる学校づくりを行う。
- (2) 学校だより、ホームページ、授業参観、学校評議員会を開催するなど家庭・地域に積極的に学校運営について公表・説明し、意見を求め学校経営に反映させる。
- (3) 日課表の工夫やミニタイム(10分)を活用し、読書指導や学習指導の充実を図る。
- (4) 縦割りの遊びの時間である「大室タイム」(月1回:業間時)を通して異年齢集団の児童が思いやりの気持ちを持ち、よさを認め、励まし合う人間関係づくりを図る。
- (5) 研究主題を「算数の楽しさを味わいながら、知識・技能を身に付け、活用できる子どもの育成」とし、印旛郡市地方教育委員会連絡協議会指定2年目の公開研究会に向け、算数科授業研究に取り組む。
- (6) PTA、地域防犯ボランティア団体、地域住民の協力を得て、交通安全指導及び不審者への対応を図る。

3. 酒々井中学校

所在地 尾上141番地の10
電話 496-1040
開校 昭和22年
校長 齋藤喜一
(平成24年度就任)

生徒数	539人 [5月1日現在]
学級数	19 (特3含む) 学級
職員数	43人



●経営の重点

教育目標

自ら学び心豊かでたくましい生徒の育成

- (1) 生徒一人一人を固有な存在として尊重し、調和のとれた人間形成を目指した教育を推進する。
【大前提】
- (2) 楽しく安定した学校生活の構築に努める。
【学校生活の基盤】
- (3) 人権教育を柱に道徳教育を推進し、豊かな心と社会性を育む教育に努める。【心を耕す】
- (4) 確かな学力の定着と意欲の向上を目指し、生涯学習の基礎となる学力の保障に努める。【学力向上】
- (5) 3年生を軸に、日々の学校生活の向上を目指す意識・意欲の醸成を図る。
【学校文化の継承】
- (6) 小中連携及び家庭や地域との連携を推進し、開かれた学校づくりに努める。
【連携推進】
- (7) 指導的立場にあるものとして教職員自らの資質能力の向上や使命感の高揚に努める。【教師への信頼】



「写真：部活動壮行会」

●学校の特徴

- (1) 数学(3学年)で習熟度別少人数授業を行い、個に応じたきめ細かな指導を行う。また、町雇用のALTと協力して英語の授業を組み立て、効果的に活気のある学習を行う。
- (2) 全学年で共通した「自主ノート」を配布し、その活用を通して家庭学習の習慣づくりや質の向上を目指した指導を行う。また、学習の見通しを持って取り組ませるために、学習ガイダンス「学びの羅針盤」の活用を図る。さらに、学習優先日を設定し、数学・英語の補充学習を
- (3) 毎朝10分間の朝の「読書タイム」の実施と、学校支援ボランティアによる「読み聞かせ」の機会を定期的に設定し、読書に親しむ心の育成を図る。
- (4) 「目指そうあいさつ日本一」を掲げ、生徒会活動を中心に明るく礼儀正しい生徒の育成を図る。
- (5) 不登校支援教員を中心に校内適応指導教室の効果的運営に努めるとともに、スクールカウンセラーと連携した適応指導に努める。
- (6) 人権教育を教育活動の柱に据え、人権集会や人権作文の取り組みを通して、生徒の人権意識の高揚を図る。
- (7) 町小中連携推進協議会の組織を活用した教科指導の面での小中連携を推進するとともに、小中児童生徒の直接交流を積極的に行い、円滑な接続を図る。
- (8) 本年度から、学校支援地域本部を立ち上げ、コーディネーターを中心に地域ボランティアを活用した教育活動を推進する。

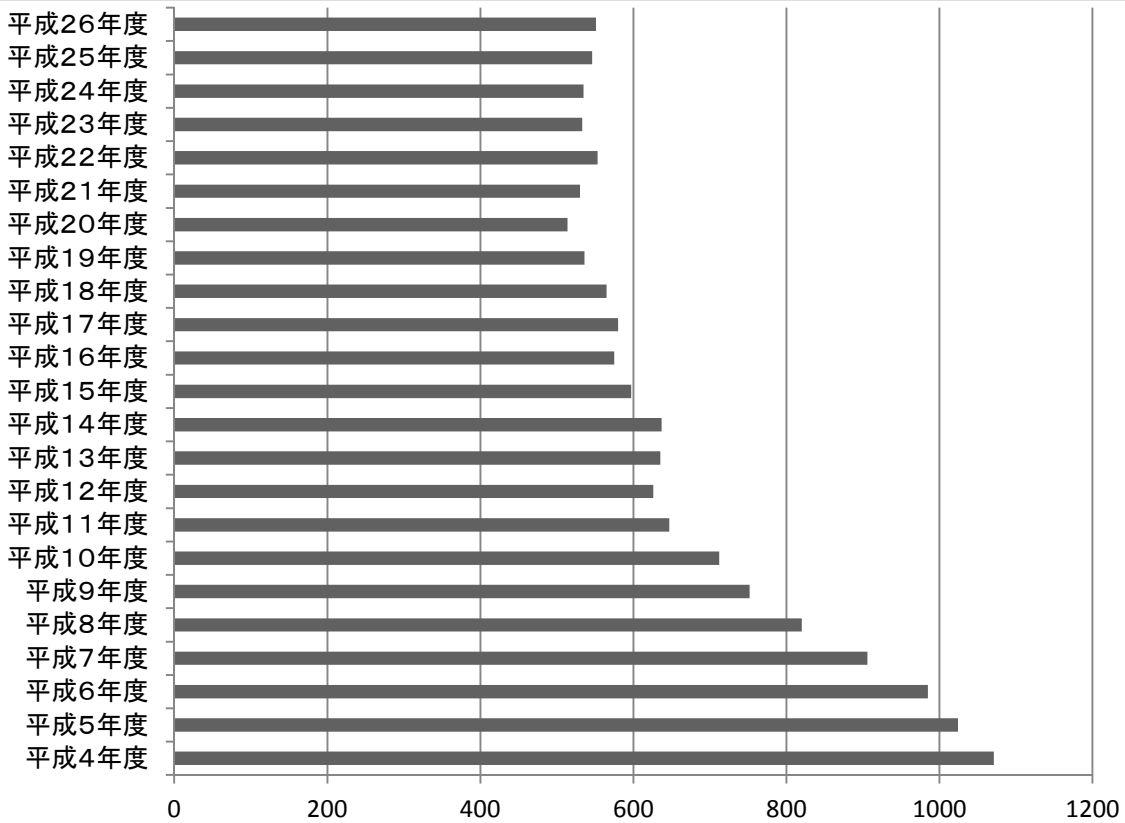
8. 学校別児童生徒数の推移

(毎年5月1日現在人数)

学校名 年度	酒々井小	岩橋分校	墨分校	大室台小	酒々井中
昭和46	481	45	17		286
47	474	58	18		313
48	499	45	13		328
49	607	44	11		301
50	732	40	酒々井小に統合		295
51	837	35			288
52	930	27			346
53	1031	20			400
54	1307	酒々井小に統合			436
55	1585				507
56	1791				582
57	1071			開校1,032	768
58	1113			1095	904
59	1162			1105	1010
60	1165			1085	1095
61	1177			1004	1161
62	1183			956	1175
63	1162			860	1201
平成 元	1200			831	1187
2	1180			740	1153
3	1129			627	1135
4	1071			562	1106
5	1024			490	1032
6	985			455	941
7	906			363	874
8	820			348	830
9	752			327	757
10	712			301	672
11	647			297	616
12	626			287	584
13	635			290	540
14	637			288	496
15	597			330	474
16	575			360	467
17	580			365	481
18	565			400	462
19	536			455	469
20	514			520	463
21	530			569	462
22	553			599	465
23	533			627	468
24	535			642	477
25	546			622	495
26	551			576	539

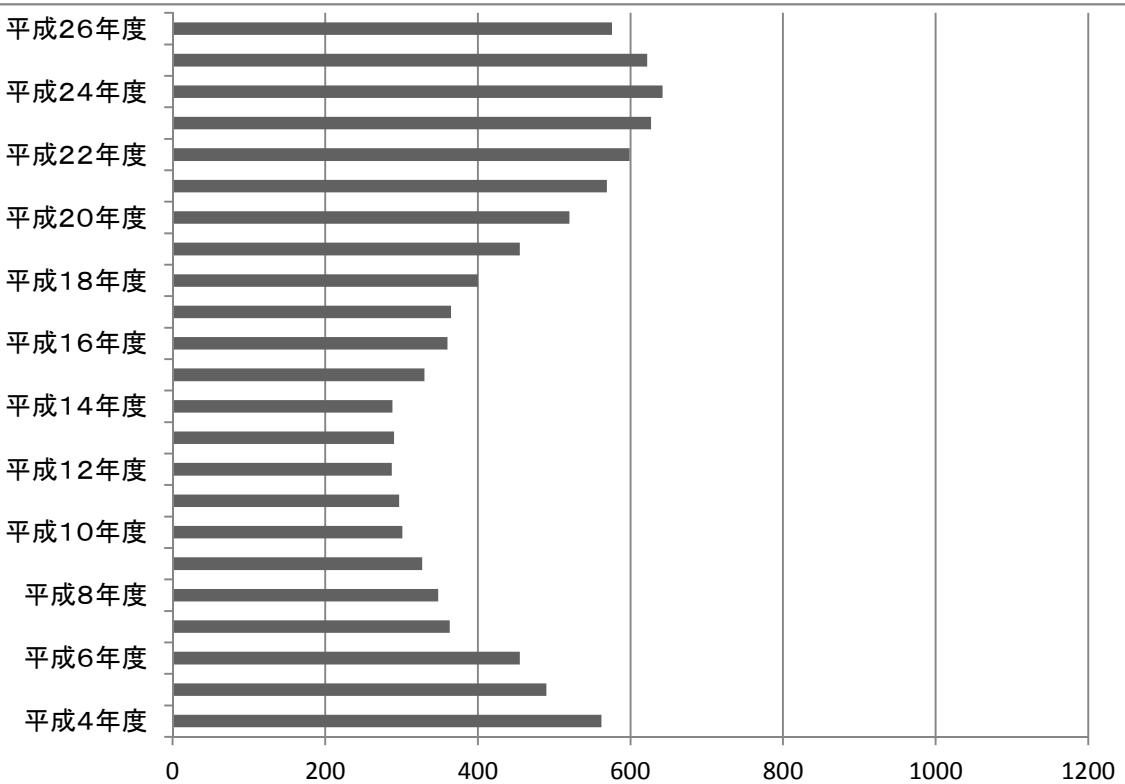
酒々井小学校児童推移

(5月1日現在) (人)



大室台小学校児童推移

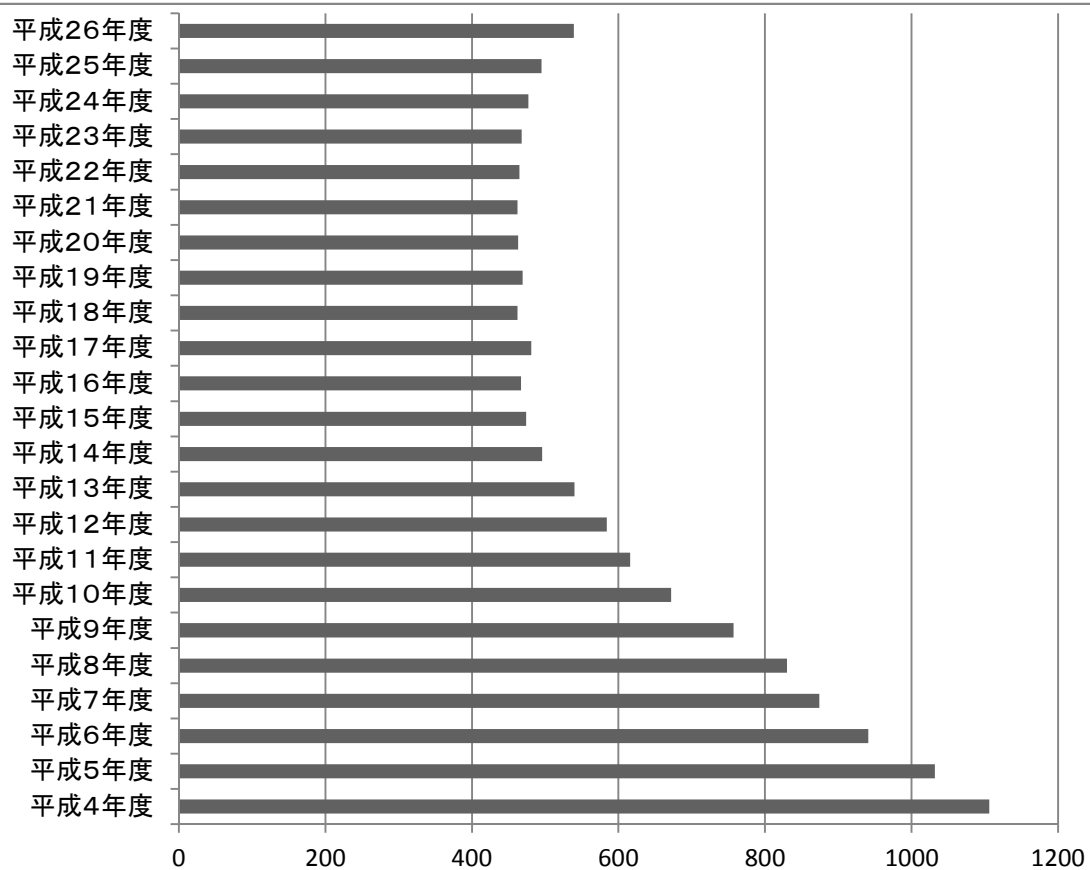
(5月1日現在) (人)



酒々井中学校生徒推移

(5月1日現在)

(人)



9. 学校給食センター

施設の概要

所在地	酒々井167番地1
電話	496-1151
開設	昭和58年4月15日
給食開始日	昭和58年5月9日
敷地面積	2,694㎡
建物面積	834.36㎡
調理能力	5,000食/日



(1) 学校給食の目的

学校給食法に基づき、学校教育活動における健康教育として望ましい食事環境の下で、栄養バランスのとれた食事を提供し、児童・生徒の心身の健全な発達を図ることを目的とする。

(2) 学校給食の目標

- ①適切な栄養による健康保持増進を図る。
- ②日常生活における食事について正しい理解と判断力を培い、望ましい食習慣を養う。
- ③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養う。
- ④生命及び自然を尊重する精神や環境の保全に寄与する態度を養う。
- ⑤食にかかわる人々に支えられていることを理解し、勤労を重んずる態度を養う。
- ⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化について理解を深める。
- ⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導く。



(3) 給食状況

①供給人数（教職員等含む）

小中別	学校数	人数
小学校	2校	1,210人
中学校	1校	580人
計	3校	1,790人

（平成26年5月1日現在）

②給食費（平成9年4月1日改正より）

小学校 月額 4,500円

中学校 月額 5,200円

③給食供給回数（平成26年度）

小・中学校 195回／年度



生涯学习

1. 生涯学習の推進

第5次酒々井町総合計画、酒々井町教育基本計画、酒々井町生涯学習推進構想及び第1期社会教育計画に基づき生涯学習の推進を行っていく。

生涯学習に対する住民への啓発を図り、多種・高度化する学習要求に応じた学習機会を設けるとともに、生涯学習情報の提供に努める。

また、生涯学習の成果を地域づくりに活かせるよう、行政が取り組んでいる生涯学習関連事業・施策と住民が自主的に取り組んでいる事業の調整を図る。

順大公開講座（レクリエーションスポーツ）

《主要事業》

生涯学習事業への参加促進

（生涯学習課）

学習機会の拡充及び学習活動の支援事業

（中央公民館）

教育施設の施設管理及びサービスの充実

（中央公民館・図書館）



【生涯学習支援】

生涯学習の機運が高まるにつれ、成人教育の分野では、中高年の方、なかでも女性の各種講座や行事への参加は多く見られるが、若い年代や青年男性の参加が低調となっている。このため若年層や熟年男性の学習意欲の喚起や参加を促すような魅力ある学習プログラムを協働で立案企画し実施していくことが望まれる。

また、女性団体、PTAなどの各種社会教育関係団体の果たす役割は大きい。これらの団体の活動が活発になるよう支援していく。

さらに、学習した成果を地域や社会へ還元できるよう、行政・民間・企業などとの連携を図る。

（1）家庭教育学級の運営

子どもにとって家庭は、すべての教育の出発点であり、人間形成の行われる最初の場として、子どもの健やかな成長を図る上で親の果たす役割は非常に大きい。多様に変化する社会の中において「生きる力」を子どもの発達段階に応じて適切に育成していくために、家庭教育の充実を図る必要がある。そこで、保護者が子どもの教育を行うための心構えや子どもへの理解、家庭教育上の共通の課題について学習する機会として、家庭教育学級を設置している。運営は学級生の自主運営とし、専任の家庭教育の指導者として家庭教育指導員を配置し、学級の運営及び学習内容の充実を図り、家庭教育力の向上に努めていく。

- ① 開設学級 酒々井小全学年保護者、大室台小全学年保護者、酒々井中全学年保護者、地域の家庭教育学級「ローズマリー」計4学級
- ② 開設基準 年6～10回（2時間～3時間）程度
- ③ 学習方法 講師・助言者を招いての講義・講話・討議のほか、見学・体験等学習活動の多様化に努める。
- ④ 学習内容 学級生の学習要求や必要課題を把握し、それに基づいて学習内容を組み立てていく。共通テーマとして人権教育について年2

回位置付ける。(合同開級式・閉級式)

- ⑤ 学習のまとめの発行
学習したことをどう受けとめ、今後どう活かすか等、1年間の活動を振り返るとともに学習活動の評価及び成果について「まなび」として冊子にまとめる。



ローズマリー学級 (救急対処法)



ローズマリー学級 (リトミック)

(2) 学習活動支援

- ① 順天堂大学に委託し親子向けの生涯学習公開講座を開催する。
- ② 公民館主催事業として、しすい青樹堂、青樹堂師範塾、各種講座、教室等を開催する。町文化の振興のために結成された酒々井町文化協会の事業に助成を行うとともに、町民文化祭への助成を行う。(公民館の項参照)

(3) 社会教育関係団体への助成

- ① P T A連絡協議会への助成
町内の小中学校3校の単位P T Aの連絡会として組織し、子どもの健全な育成を図るために3校合同で行う校外指導や教育講演会、研修会等の事業に対して助成を行う。
- ② 婦人会への助成
環境美化、健康管理運動や印旛沼水質汚染防止運動の支援などの事業や、婦人の地位・教養の向上のための研修などの活動を行っており、これらの事業について助成を行う。(町内9支部、56名の会員 平成26年4月現在)
- ③ ユネスコ協会への助成
昭和59年3月、国際理解・国際協力を通じて平和と心豊かな町づくりを目指して、県内10番目のユネスコ協会として組織された団体で、ユネスコ活動の展示会青少年育成事業を行っており、これらの事業について助成を行う。(会員数38名 普通会员26名・賛助会員12名 平成26年4月現在)
- ④ 文化協会への助成
酒々井町の文化発展に寄与することを目的とし町内の各種文化団体が加盟している。町民ギャラリーや展示会等の事業に対して助成を行う。(文化・芸術に詳細を記載)

(4) 盛年式の開催

本年度60歳を迎える方々の節目の祝いとして、今後の人生を充実させるための学びと、培った力を地域で活かす契機の間として「平成26年度盛年式」を下記の予定で開催する。

- ①日 程 平成26年12月14日(日)
- ②会 場 中央公民館
- ③内 容 式典、講演及び団体紹介等



盛年式（鏡開き）

2. 青少年健全育成

青少年を取り巻く社会環境が急激に変化していく中、自ら学び、自ら考えて問題を解決していく資質や、他人と協調し、また他人を思いやる心などの「生きる力」を育成していくことが必要である。そのために学校・家庭・地域社会がそれぞれの教育機能を果たしていくとともに、相互に連携・融合しながらその充実を図っていくことが必要となる。

これらを踏まえ、多様な主体による青少年の健全育成事業を行う。

(1) 子ども会育成会連絡協議会

《目的》 子ども会会員相互の交流を目的とした事業を実施し、子ども会の連帯と単位子ども会の育成を図る。

《事業》

- ①子ども会ふれあい球技大会
スポーツ活動を通じ子ども同士の連携と所属を越えた子どもたちの交流を図ることで健全な育成を推進する。
- ②子ども会体験教室
子どもたちが、レクリエーションや集団活動を通じて協力・協調の精神を養っていくことを目的に様々な体験活動を実施する。
- ③その他（印旛郡市子ども会育成連合会）
 - ・育成者講習会
 - ・実践体験研修会
 - ・実技講習会
 - ・ジュニアリーダー講習会
 - ・役員研修会

(2) 町青少年相談員連絡協議会

《目的》 青少年と真に一体となり、ともに喜び、ともに語り、青少年の相談相手となる青少年相談員の事業として、地域での育成活動の積極的な推進を図り、青少年の健全育成に資するため独自事業と各団体と連携した事業を行う。

《構成》 町内13地区を基準に青少年相談員が配置されている。

《事業》

①星空の映写会（人権を考える映画会共催）

夏休み期間中に、親子のふれあいと子供たちに豊かな情操を身につけてもらうために、野外映画会を開催する。

②愛のパトロール

青少年の健全育成を図るため夏休み期間中町内のパトロールを行う。

③親子たこづくり教室・たこあげ大会

たこづくり・たこあげを通し、モノづくり遊びを通じ親子のふれあいを深めことを目的に実施する。

④他事業への協力

町子ども会事業（子ども会ふれあい球技大会・子ども会体験教室）

町スポレク祭（青少年相談員ふれあい綱引き大会）

⑤その他

印旛地区青少年のつどい大会（H26年度は県青少年相談員50周年記念事業に振替）

印旛郡市内の小学5・6年生及び中学1・2年生を対象に、団体活動を通して交流を深めるため郡内青少年相談員主催で体験教室等を行っており、当町からも参加予定している。

各研修会・会議への参加

印旛地区青少年相談員研修会や青少年非行防止会議等に参加する。



子ども会野外体験教室



青少年相談員綱引き大会（スポレク祭）

（3）成人式

成人になったことを自覚し、社会的連帯と自立の精神のもと、未来をたくましく生き抜こうとする青年の門出を祝い励ますため、成人式を行う。

また新成人該当者の中から代表として15名程度の成人式実行委員会を組織し、自主的な企画運営に当たる。

①日 時 平成27年1月11日（日）

②場 所 プリミエール酒々井

③内 容 式典
新成人意見発表
記念写真撮影



3. 人 権 教 育

人権の尊重が平和の基礎であるということが世界の共通認識となり、我が国においても、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」（平成12年）が成立・施行され、この法律の趣旨に則り「人権教育・啓発に関する基本計画」（平成14年）が策定され、あらゆる場を通じて人権教育を推進し、人権という普遍的文化を構築するための活動がなされている。

酒々井町教育委員会では、これまでの人権教育の取り組みと、その成果と課題をもとに、より充実した教育・啓発事業等を展開することにより、人権に関する知識、情報や技能を伝え、人権意識を高めるための基礎づくりの推進に努める。

《基本施策》

あらゆる場を通じた人権教育の推進に努めるとともに、以下の項目を重点課題とする。

- ①人権教育の効果的推進
- ②人権教育推進のための指導者養成・職員研修の充実
- ③関係機関との協力関係の強化

《事業》

（1）人権教育推進事業

- ①人権教育推進協議会の開催（年間1回予定）
- ②主催事業における人権学習
 - ・家庭教育学級
 - ・酒々井町青樹堂
- ③人権を考える映画会の開催
- ④啓発物資の貸し出し（ビデオ・DVD）
 - 啓発資料冊子の配布

（2）地区住民の社会教育活動の推進（同和集会所事業）

- ①小・中学校学力向上学級
- ②ふれあい生け花教室

（3）人権教育推進のためのセミナーと指導者育成の研修

- ①人権教育セミナー（年6回）

	期日・時間・場所	内 容（共催団体）	講 師
1	5月28日（水） 午後3時00分から 会場：隣保館	「災害と人権・地域と人」 （人権ふれあい講座合同開催）	（一社）千葉県人権センター 鎌田 行平 氏
2	6月18日（水） 午前10時00分から 会場：プリミエール	「ネットモラル」 ～大人でも難しいネット社会の歩き方～ （家庭教育学級、酒々井町青樹堂合同開催）	（株）グリー 安全安心マネージャー 小木曾 健 氏

3	7月31日(木) 午後2時00分から 会場：プリミエール	「人生を楽しむ」 ～ 体が動けば心も動く ～ (学校人権研修会、ボランティア協議会、 酒々井町青樹堂合同開催)	(株)テレビ朝日 エグゼクティブアウンサー 宮嶋 泰子 氏
4	9月3日(水) 午後1時30分から 会場：プリミエール	「(幼児と保護者向け)」 図書館講演会、合同開催	おはなしおばさん 藤田 浩子 氏
5	12月2日(火) 午後1時30分から 会場：中央公民館	「人生をやめたいと思う人に 『生きる力』をお届けします」 (人権ふれあい講座、保健センター、酒々井町青 樹堂合同開催)	うつ専門カウンセラー 澤登 和夫 氏
6	2月19日(木) 午前10時00分から 会場：プリミエール	(仮)「高齢社会に向けてのボランティア 活動」 (家庭教育講演会・婦人会研修会・ボランティア 協議会・更生保護女性会・合同講演会)	大阪ボランティア協会 事務局長 早瀬 昇 氏

②人権・同和問題研修会(行政・教職員初任者・転入者)

③人権教育指導者養成講座への職員参加(県主催)

(4) 学校人権・同和教育との連携

①学校人権・同和教育連絡会、学力向上学級保護者会(年間3回)

②人権教育担当者会議(月1回)

(5) 人権標語・人権擁護に関する作文への協力(人権推進課事業)

4. 学校教育支援促進事業

平成18年の教育基本法の改正に伴い学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力の規程が新設され、平成23年度からは学校教育を支援する学校支援地域本部事業が全国的に開始されている。

酒々井町でも町立学校の教育活動の更なる充実及び発展を図るために、地域社会の協力のもとに学校支援地域本部を設置した。



大室台小学校(バイオトープ整備)



大室台小学校(ミシン教室)

《事業》

(1) 学校支援地域本部設置事業

- ①支援運営委員会の開催（教育支援活動等の運営方法等を検討）
- ②学校支援コーディネーターの設置
- ③地域ルームの設置（学校ボランティアの活動拠点）

＊学校支援本部活動は学校からの要望を学校支援コーディネーターが調整し支援ボランティアの自主的支援で成り立ちます。

【支援活動】学習補助 職場体験事業所の開拓 図書館整備や読み聞かせ
英語教育の環境整備 農業体験 学校行事支援 登下校の見守り
など。

5. 土曜日の教育支援体制等構築事業

文部科学省では、学校、家庭、地域の三者が連携し、役割分担しながら、学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などに取り組むことにより、土曜日の教育環境を豊かなものにすることが必要であるとし、平成26年度から補助事業を開始した。

《目的》酒々井町では、子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として開設する。（3・4年生は、公民館事業として平成22年度から実施）

《事業》（7. 公民館 （2）主要事業 4. こども青樹堂に詳細を記載）



こども青樹堂



土曜塾

6. 文化・芸術

古い歴史を持つ当町には千葉氏の居城であった本佐倉城跡をはじめとする史跡や、墨・馬橋・上岩橋の獅子舞など様々な祭りが今なお人々に受け継がれている。また、町内の所々に所在する石仏などの庶民文化が数多く残されている。これらの保存・伝承に努め、町民の郷土への関心を高めることに努める。

(1) 文化財審議会

文化財の指定、保存及び活用にかかる諮問、調査研究に努める。

(2) 文化財パトロール

町内の指定文化財等の巡回を行う。

(3) 文化財保護団体の育成

- 郷土研究会
- 酒々井ふるさとガイド 等

(4) 本佐倉城跡の保存・整備

本佐倉城跡は戦国時代を通じて千葉氏の居城であり、下総の中心地として栄えた。この千葉県を代表する中世城郭である本佐倉城跡が国史跡に指定されたことにより指定地の公有化を行った。また、今後の利活用を図るため、史跡整備事業を実施する。



本佐倉城跡（国指定史跡）

(5) 史跡ウォーキング

「歴史のまち酒々井」をアピールするため、町内に数多く所在する寺社、史跡、名所、旧跡等の貴重な文化財や豊かな自然環境をめぐるウォーキングを各種団体と協働で実施し、町内外へ向けての情報発信とともに、町の観光振興・交流人口の増加を図る。

(6) 文化財保存事業

- 町指定文化財修理保存
- 埋蔵文化財調査

◎ 郷土研究会

郷土の歴史、地誌、文化等郷土の研究・調査を目的とした町民の団体。

会員 151名

- 町内史跡めぐりハイキング
- 史跡見学会
- 野草の会・名勝探訪
- 郷土史講座
- 史談会
- 文化財保護活動
- 会報発行

◎ 文化協会

昭和59年3月、町内にある各種文化団体相互の交流を深めるとともに、町文化の発展に寄与することを目的として組織され、平成26年3月現在68団体、1,105名の会員を有する規模となっている。

- 美術展・町民ギャラリー（役場庁舎内）への常設展
- 町民文化祭（共催団体）
- 文化講演会
- 機関紙「樹」発行

指 定 文 化 財 一 覧 表

区分	番号	種別	名 称	所在地・指定地 伝承地 (番地)	所有者指定者伝承者	指定年月日	周知 施設 有無
国	1	史 跡	本佐倉城跡	本佐倉765-2他	酒々井町	H10. 9. 11	○
県	1	千有167	銅造阿弥陀如来及び両脇侍立像	上本佐倉206-1	清光寺	S56. 3. 13	○
	2	千有206	木造阿弥陀如来座像	上岩橋1664-1	長福寺	S62. 2. 27	○
	3	千有207	木造持国天・多聞天立像	上岩橋1664-1	長福寺	S62. 2. 27	○
	4	千有153	鑄銅雲版 (応永22年在銘)	伊篠647	浄泉寺	S52. 3. 4	○
	5	千有189	天正検地帳 (下総・印東庄中台郷御縄打水帳)	下台93-1	古川正男	S57. 4. 6	—
	6	千無43	墨の獅子舞	墨区	墨獅子講	S42. 3. 7	○
	7	千天43	上岩橋貝層	酒々井51他	石渡潤一、筋よね	S50. 3. 28	○
	8	千無66	天真正伝香取神道流の型	尾上74-3	京増重利	H16. 3. 30	○
町	1	有建17	経胤寺本堂	本佐倉21-1	経胤寺	S52. 3. 29	○
	2	有建18	勝蔵院本堂	酒々井127-1	勝蔵院	S52. 3. 29	○
	3	有彫1	木造十一面観音立像	本佐倉696-1	吉祥寺	S46. 11. 3	○
	4	有彫2	銅造十一面観音立像	伊篠647	浄泉寺	S46. 11. 3	○
	5	有彫3	木造正観音立像	伊篠647	浄泉寺	S46. 11. 3	○
	6	有彫4	木造不動明王座像	酒々井127-1	勝蔵院	S46. 11. 3	○
	7	有彫28	木造阿弥陀如来座像	伊篠719	松雲寺	H 3. 3. 30	○
	8	有彫29	木造童子立像	柏木562	新光寺	H 3. 3. 30	○
	9	有歴7	浄泉寺文書二通	伊篠647	浄泉寺	S46. 11. 3	○
	10	有歴9	板石塔婆 (永徳三年在銘)	上岩橋1359-1	高橋平	S46. 11. 3	—
	11	有歴10	石造追分不動道標	上岩橋352-14	相京一行	S46. 11. 3	—
	12	有歴15	島田長右衛門家文書	酒々井1688	島田龍夫	S52. 3. 29	—
	13	有歴16	佐倉七牧大絵図	酒々井1688	島田龍夫	S52. 3. 29	—
	14	有歴20	酒々井駅古松碑	酒々井167-6	酒々井町	S52. 3. 29	○
	15	有歴21	柏木の庚申塔 (正徳二年在銘)	柏木	柏木区	S52. 3. 29	○
	16	有歴22	本佐倉の庚申塔 (享保十年)	本佐倉	本佐倉区	S52. 3. 29	○
	17	有歴23	酒々井の庚申塔 (正徳六年)	酒々井1839-1	東光寺	S52. 3. 29	○
	18	有歴24	大日如来供養塔 (寛文十三年)	酒々井1839-1	東光寺	S52. 3. 29	○
	19	有歴25	飯積村道標 (寛政十一年)	飯積	藤川美啓	S52. 3. 29	○
	20	有歴31	慶長九年検地帳 (小神村御縄打水帳)	尾上	尾上地区	H 3. 3. 30	—
	21	有歴32	慶長九年検地帳 (馬橋郷御縄打水帳)	馬橋	馬橋地区	H 3. 3. 30	—
	22	有歴33	慶長九年検地帳 (上岩橋郷御縄打水帳)	上岩橋351-1	木村睦	H 3. 3. 30	—
	23	有歴30	柏木の六地藏	柏木562	新光寺	H 3. 3. 30	—
	24	有絵34	紙本着色鬼子母神図 (附 紙本着色日蓮聖人図及び法華曼陀羅二幅)	酒々井127-1	勝蔵院	H11. 9. 6	—
	25	工芸27	勝福寺鰐口	墨265	江沢勝二	S62. 12. 15	—
	26	無民11	上岩橋の獅子舞	上岩橋区	上岩橋獅子舞保存会	S46. 11. 3	—
	27	無民19	馬橋の獅子舞	馬橋区	馬橋獅子舞保存会	S52. 3. 29	—
	28	史跡12	カンカンム口横穴群	酒々井558-2他	小別当武	S46. 11. 3	○
	29	天記13	飯積の大杉	飯積	伊豆神社	S46. 11. 3	○
	30	有民35	下宿麻賀多神社山車人形及び山車	酒々井204-1	下宿麻賀多神社氏子会	H19. 10. 5	—
町 登 録	1	登建	島田長右衛門家 (店舗兼住宅一棟)	酒々井1688-1	島田龍一	H24. 12. 21	○
	2	登建	島田政五郎家 (店舗兼住宅一棟)	酒々井1688-2	島田徳雄	H24. 12. 21	○
地域	1	地名勝	飯積の泉	飯積269他	飯積の里整備計画友の会	H25. 12. 27	—

7. スポーツ・レクリエーション

【スポーツ・レクリエーション祭】

町民の健康増進・体力づくりを目指して、「いつでも、どこでも、だれでも」手軽にできるスポーツを普及させるとともに地域・世代間の交流を発展させることを目的とし、多数のレクリエーション種目を行う。

◎ 実施種目

綱引き、ソフトバレーボール、ディスクゴルフ、グラウンドゴルフ、バドポン、インディアカ、体力測定等



【スポーツ団体の育成】

- ◎ スポーツ少年団 スポーツを通して、少年たちの健康な体と心を育てることを目的とする。
 - ★ 酒々井ビッグアローズ ★ 酒々井ジャガーズ
- ◎ インディアカ協会 インディアカの発展充実に努めるとともに、他市町村の関係諸団体と交流を深めながら、町民相互の親睦と心身の健全育成を図る。
 - ★ 7チーム 35名

【スポーツ推進委員連絡協議会】

- ① 目的 町の生涯スポーツ振興のため、住民に対し軽スポーツを広く普及させ、同時に地域交流の推進を目的に実技指導や指導助言を行う。
 - ② 構成人数 13名（委員長1、副委員長2、委員10）
 - ③ 主要事業
- ◎ ウォークラリー大会
歩く楽しさ、自然の魅力を味わいながら健康体力づくりを目的に開催する。



- ★ 最近実施したコース
（ 墨・馬橋コース、下岩橋・伊篠コース、上岩橋・東酒々井コース ）

◎ ライトスポーツクラブ

『いつでも、どこでも、だれでもすぐできる軽スポーツ』の体験の場を提供することで、生涯スポーツを推進するとともに、スポーツを通じた相互交流を発展させ、自主団体の育成に資することを目的として開催する。



★実施種目

- ・ ミニバレーボール
- ・ バドポン
- ・ さいかつぼーる
- ・ ソフトバレーボール
- ・ 室内ペタンク

【健康体力づくり推進員連絡協議会】

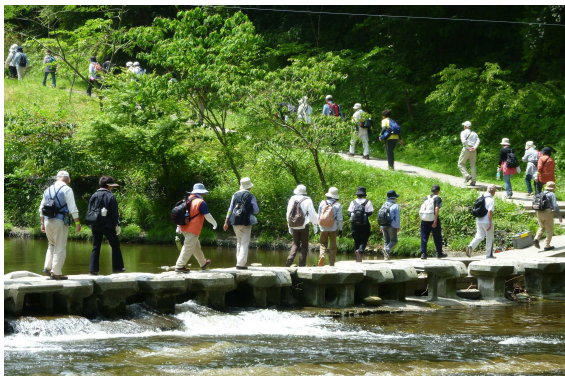
① 目的 町民の健康づくり、体力づくりの推進を図るため酒々井町健康体力づくり推進員（以下「推進員」という。）を設置し、もって、町民一人ひとりが健康で明るくいきいきと生きがいのある充実した生活を送ることができるよう策定された健康創造都市プラン「酒々井町健康ビジョン」の推進に寄与することを目的とする。

② 構成人数 7名（会長1、副会長2、推進員4）

③ 主要事業

◎ ハイキング

豊かな自然とふれあい、健康の維持増進と人と自然の関わり合いを考え、また町民相互の親睦を図ることを目的に開催する。



★最近実施した場所： 養老溪谷ハイキングコース（大多喜町）
江戸川沿線ハイキングコース（東京都江戸川区）
銚子電鉄沿線ハイキングコース（銚子市）

【 体 育 協 会 】

① 目 的 各種大会を通じて専門部の技術向上を図るとともに、スポーツ団体を育成し、町民体育・スポーツ振興を図る。

② 構成人数 18団体 約700人

種目：陸上競技・軟式野球・バスケットボール・バレーボール・剣道
柔道・弓道・テニス・ソフトテニス・ソフトボール・卓球・バドミントン・ゲートボール・クレー射撃・空手道・ゴルフ・サッカー・グラウンドゴルフ

③ 主要事業

◎ 専門部事業

- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) テ ニ ス 部 | テニス大会・テニススクール |
| (2) ソフトテニス部 | ソフトテニス大会 |
| (3) 卓 球 部 | 卓球大会 |
| (4) ゴ ル フ 部 | 町ゴルフ大会 |
| (5) バドミントン部 | バドミントン大会 |
| (6) ソフトボール部 | ソフトボール大会 |
| (7) 陸 上 部 | 駅伝競走大会 |
| (8) 野 球 連 盟 | 町民野球大会 |
| (9) 柔 道 部 | 柔道教室 |
| (10) 剣 道 部 | 剣道教室 |
| (11) 空 手 道 部 | 空手道教室 |
| (12) クレー射撃部 | 定例競技会 |
| (13) サ ッ カ ー 部 | 少年サッカー大会・サッカー教室 |
| (14) バレーボール部 | バレーボール大会 |



◎ 派遣事業

- (1) 郡市民体育大会選手派遣
- (2) 県民体育大会選手派遣
- (3) 印旛駅伝競走大会選手派遣



【 社会体育施設 】

【 墨スポーツ広場 】

- ◎ 竣 工 昭和61年10月
- ◎ 面 積 15,250㎡
- ◎ 施設内容 野球場：1面



【 公共用地 】

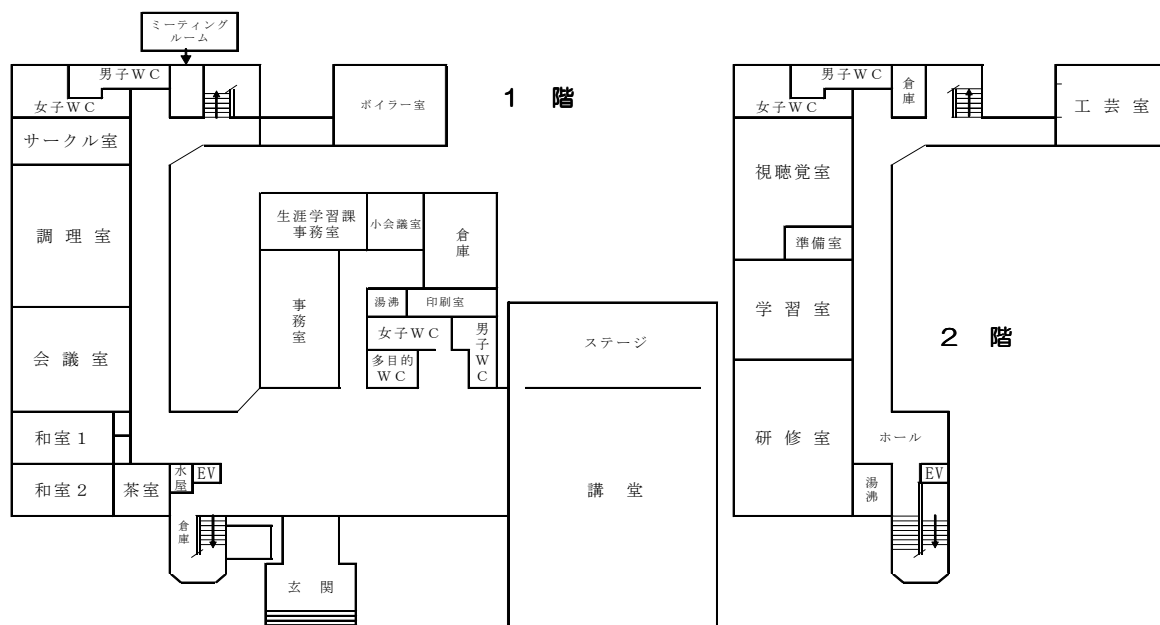
- ◎ 竣 工 昭和57年4月
- ◎ 面 積 7,686.4㎡
- ◎ 施設内容 野球場：1面



8. 公 民 館

施設の概要

竣 工 昭和55年10月20日
 開 館 昭和55年11月 2日
 構 造 鉄筋コンクリート 2階建
 建物総面積 2,303.58㎡
 (内訳) 1階 1,566.53㎡
 2階 682.17㎡
 塔屋・機械室 54.88㎡
 敷地面積 8,074.65㎡



《1 階》

《2 階》

施設等	収容人員	施設等	収容人員
講 堂	400人	研 修 室	43人
和 室 1	15人	学 習 室	30人
和 室 2	15人	視 聴 覚 室	63人
茶 室	5人	工 芸 室	36人
会 議 室	30人		
調 理 室	36人		
サークル室	20人		

(1) 運営方針

中央公民館は、社会教育法に規定された教育機関として、「つどい」・「まなび」・「つなぐ」を合言葉に、住民の学習意欲や課題に応えるため住民の自主的な学習活動を支援する。

また、町民が親しみやすく利用しやすい教育施設として、その機能を発揮するよう常に創意工夫をこらし、学びとる教育を大切にしながら次のような視点を持って講座運営に努める。

- ① 新しい生きがいの創造をめざす講座
- ② 国際化・情報化社会に対応するための講座
- ③ 文化活動を高めるための講座
- ④ 趣味を広げ情操を豊かにするための講座
- ⑤ 親子の関係を深めるための講座

(2) 主要事業

酒々井町青樹堂（公民館主催事業の総称）

1 しすい青樹堂 《対象一般、1年生 年間22回、2年生 年間23回》

生きがいを持ちながら郷土愛を育み、地域の中で連帯感を持ちながら住み良いまちづくりを考え実践していく主役として共に学び行動する仲間づくりを目標とする。

そして、まちづくり・まちおこしの視点から、2年次卒業時には「卒業レポート」として実践内容を提案する。

【1年生学習内容】

学習目標		まちづくり活動について学習し、卒業後の自主的な活動に向け、団体交流や自主活動をする。
1	合同式典	入門式、修了式、卒業式
2	合同学習	町長講話、師範塾総長講話等
3	ホームルーム	オリエンテーション、グループ作り、公民館使用規定
4	健康づくり	体力・筋力の原理、生活習慣病について、軽い運動、酒々井町を歩いてみよう
5	地域活性	地域活動の意義と方法、私達の地域活性化の活動、まちおこし、観光の町づくり、生涯学習と仲間づくり、プレミアムアウトレットと酒々井町
6	行財政	町長講話、浄水場視察、清掃組合視察
7	歴史	酒々井宿を知る

8	一般教養	声に出して読む源氏物語、海外から見た日本
9	課外学習	野草観察、大多喜町散策、笠森観音見学、成田山フィールドワーク
10	教育	酒々井町の教育、心に響くスピーチ
11	安心・安全	救急救命講習
12	科学・文化	日本のエネルギーを考える、語りの世界
13	ボランティア	酒々井小交流教育

【2年生学習内容】

	学習目標	○一般教養を高め、自己の実践力の向上を図るとともに酒々井町への「郷土愛」を育む。 ○会員の連帯感を育み「まちづくり」を共に学び、行動する仲間づくりを推進する。
1	合同式典	入門式、修了式、卒業式
2	合同学習	町長講話、師範塾総長講話、人権セミナーの聴講
3	ホームルーム	オリエンテーション、公民館使用規定の確認
4	健康づくり	薬の知識と使い方、生活習慣病の知識、中高年の体力作り
5	地域活性	「酒々井宿」の現地研修
6	行財政	町長講話、確定申告の意義と方法
7	歴史	文学に見る「佐倉連隊」の講話
8	一般教養	安心の遺産相続、年金と相続とマネープランの講話、「語りの世界」の実践
9	課外学習	「エコトピア酒々井」(介護施設実際)、千葉地方検察庁、千葉地方裁判所(司法の実際)、歴史民俗博物館、房総のむら(博物館の利用法)
10	教育	酒々井の教育の現状
11	安心・安全	救急救命講習
12	科学・文化	日本のエネルギーを考える、語りの世界
13	ボランティア	酒々井ふるさとガイド会の活動と酒々井紙芝居の会の活動状況、「おもちゃ修理」からの社会奉仕活動

2. 青樹堂師範塾 《対象一般、1年間23回》平成26年度休止

まちづくり実践者としての活動だけではなく、まちづくりに参加する方々をサポートするまちづくり指導者の養成を目的とした学習内容とした。

そして、学習内容の1/3は「地域アニメーター」「まちづくりコーディネーター」「旅のもてなしプロデューサー」資格取得のための講座である。

【平成25年度青樹堂師範塾学習内容】

	学習目標	学習を通して、『まちづくり』『まちおこし』の実践者としてだけでなく、指導者としての資質を身につける。
1	合同式典	入門式・卒業式
2	合同学習	人権教育セミナー・総長講話・レポート発表（カレッジ9期生）
3	ホームルーム	オリエンテーション等
4	一般学習	千葉県環境学習アドバイザー講話・源氏物語講話・千葉出前講座
5	健康づくり	中高年の体力づくり
6	専門学習 (地域アニメーター 資格取得講座)	生涯学習まちづくり論・地域と青少年指導・集団生活の理解・ボランティア活動論・地域活性化の手法・成人学習の課題
7	専門学習 (まちづくりコーディネーター資格取得 講座)	生涯学習コミュニティ・地域活性化論・特別課題・市民活動の意義と方法・地域資源の発見と活用・地域計画・集団の維持とリーダーシップ・まちづくりと環境・まちづくりボランティア・地域で推進するスポーツ体験
8	専門学習 (旅のもてなしプロ デューサー資格取得 講座)	生涯学習まちづくり論・もてなしの心と技・地域資源の活用・観光に関する諸事業・地域の魅力と旅プラン・観光のための教育、学習
9	安心・安全	救命救急講習

3 カレッジコース 《対象一般、3年生 年間25回》

仲間づくりを行いながら酒々井町について学んだり、幅広い分野の学習を学んだりして、最後にまとめてまちづくりの視点から「卒業レポート」として提案する。卒業後は、提案に基づき、できる内容から地域活動を実施し、地域に貢献することを目的とする。1・2年生では総合学習、3年生ではボランティアや健康づくり、環境問題や防犯、防災、住民協働など、様々な分野でのまちづくり活動について学習する専門学習のカリキュラムとした。

現在の10期生で終了し、しすい青樹堂へ完全移行する。

【3学年専門学習内容】

学習目標	まちづくり活動について学習し、卒業後の自主的な活動に向け、団体交流や自主活動を通じて卒業レポートをまとめる。 ①健康づくりや自主活動について学び、ボランティアとして活動できる方法など。 ②行政との協働、地域での活動方法など。	
1	合同式典	入門式・修了式・卒業式
2	合同学習	町長講話・学長講話・レポート発表等
3	ホームルーム	オリエンテーション・レポート作成にあたって・卒業提案等
4	一般学習	救命救急講習・野外観察・海外からみた日本・大多喜城・城下町視察
5	健康づくり	体力診断と健康管理・健康体操・健康と食生活
6	専門学習	地域活動の意義と方法・変化する国際社会・歴史講話・まちづくりのための必要条件・日本の湧水・暮らしとお金・学習効果を幅広く生かす
7	課題学習	健康ウォーキング・防災（震災）・ホームページ・パソコンレッスン講座

4 こども青樹堂

～学ぶ土曜日！こども青樹堂 わかる、がんばる学習活動～

子どもたちの豊かな人格形成を育み、確かな学力の向上を目的に教員経験のある学習支援者の協力のもと、学習への学び方を学ぶ。

国語（漢字の読み書き・意味等）・算数（加減乗除）等の基礎基本の学び方を学習し、自主的な学習活動を支える。	《講師》 学習支援者	《対象》 小学校 3・4年生 5・6年生	通年土曜日 (20回)
--	---------------	-------------------------------	----------------

5 コスモス会 日本語教室

日本語を母国語としない外国人を対象に、日常生活に必要なコミュニケーション能力を養う。平仮名や片仮名等の読み書きができるようにし、日常生活に生かせるようにする。

平仮名、片仮名や簡単な漢字等の日本語の基礎基本学習。	《講師》 学習ボランティア	通年（30回） 原則毎週土曜日
----------------------------	------------------	--------------------

6 一般講座（短期間講座）

～草笛教室～ リーフスイング♪	草笛の吹き方を学ぶ。	対象一般 全3回
～歩いてめぐる発見のみち～ 酒々井ウォーキングマップの旅	カレッジコース10期生健康ウォーキング班が作成したウォーキングマップをもとに町内をめぐる。	対象一般 全6回
勝っタネ!くん ゆるキャラクッキング	本佐倉城マスコットキャラクター「勝っタネ!くん」をモチーフにしたパン作りを学ぶ。	対象一般 全1回
大人だって知りたい!!! 酒々井の伝説と民話	町名の由来となった「酒の井伝説」をはじめ、酒々井町の数々の伝説や民話を学ぶ。	対象一般 全5回
自然観察会（春編）	西井戸周辺で食べられる野草を採取し、調理して試食する。	対象一般 全1回

7 自由講座

◎ 町民文化祭

日頃の学習活動の成果を発表する機会を提供すると共に、町民の芸術・文化に対する関心を高め、生涯学習の理解を広げ、より多くの町民が参加する文化活動を推進する。そのために、参加者が主体の運営委員会組織を設置し、発表・展示・体験等内容の充実を図る。

◎ オータムコンサート

町内小・中学校によるコンサート。音楽文化を広め、豊かな心を育み、生きがいを感じられる町づくりを目指すとともに、小中学生や一般聴衆との交流を図り、親交を深める。また、互いの演奏技術や鑑賞態度の向上をめざす。

◎ おじさんずライブ in しすい

老若男女を問わず、おじさんたちが元気に活躍する舞台を鑑賞し、元気をもらい、町が活性化することを目的とし実施する。

◎ 館報「公民館だより」の発行（年3回）

公民館事業の紹介や案内、また生涯学習にかかる情報を提供して、親しまれる館報づくりを推進する。

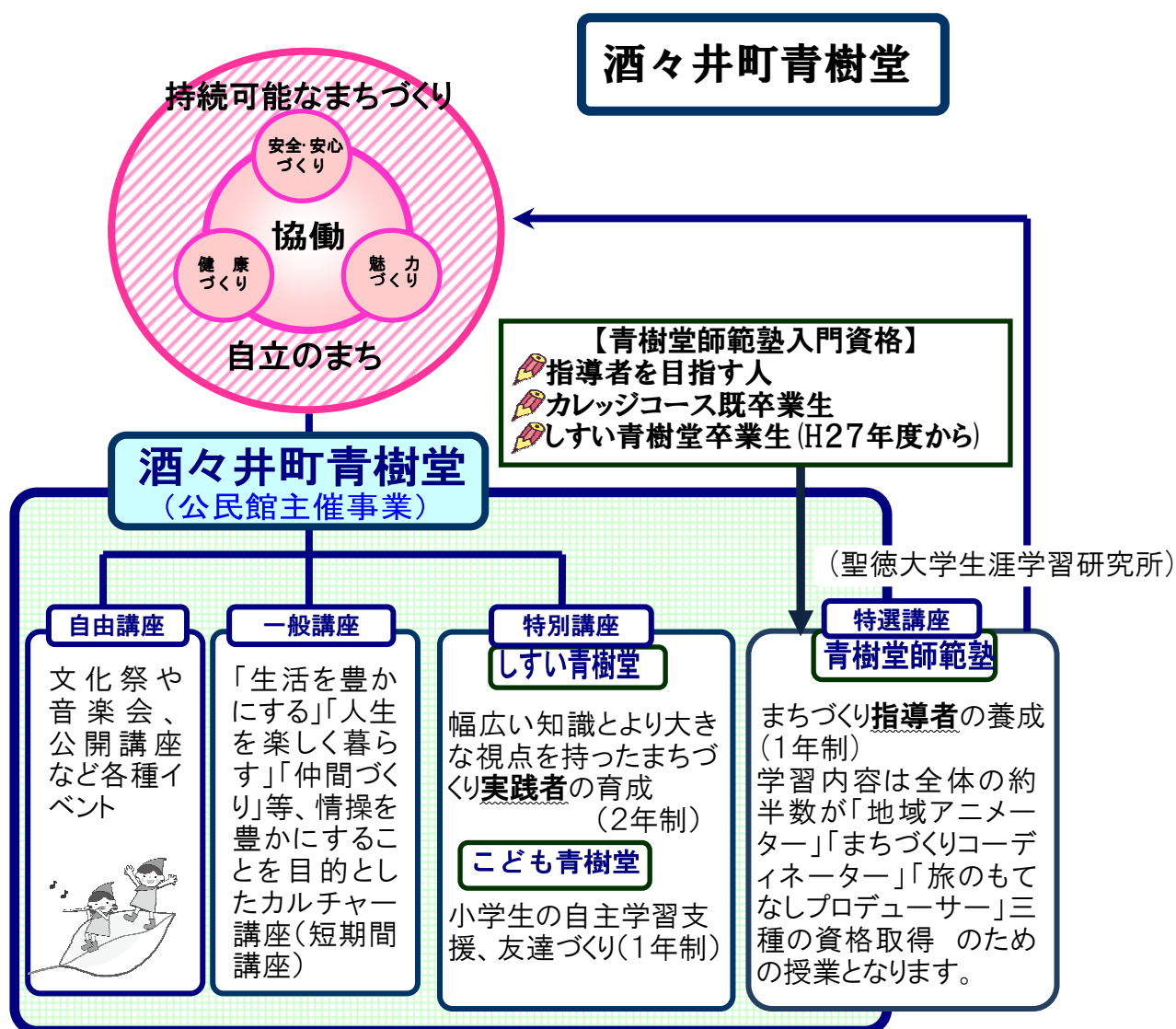
(3) サークル・同好会

公民館を学習活動の場としているサークル・同好会を育成、支援する。

(※平成26年5月現在定期利用団体：103団体)

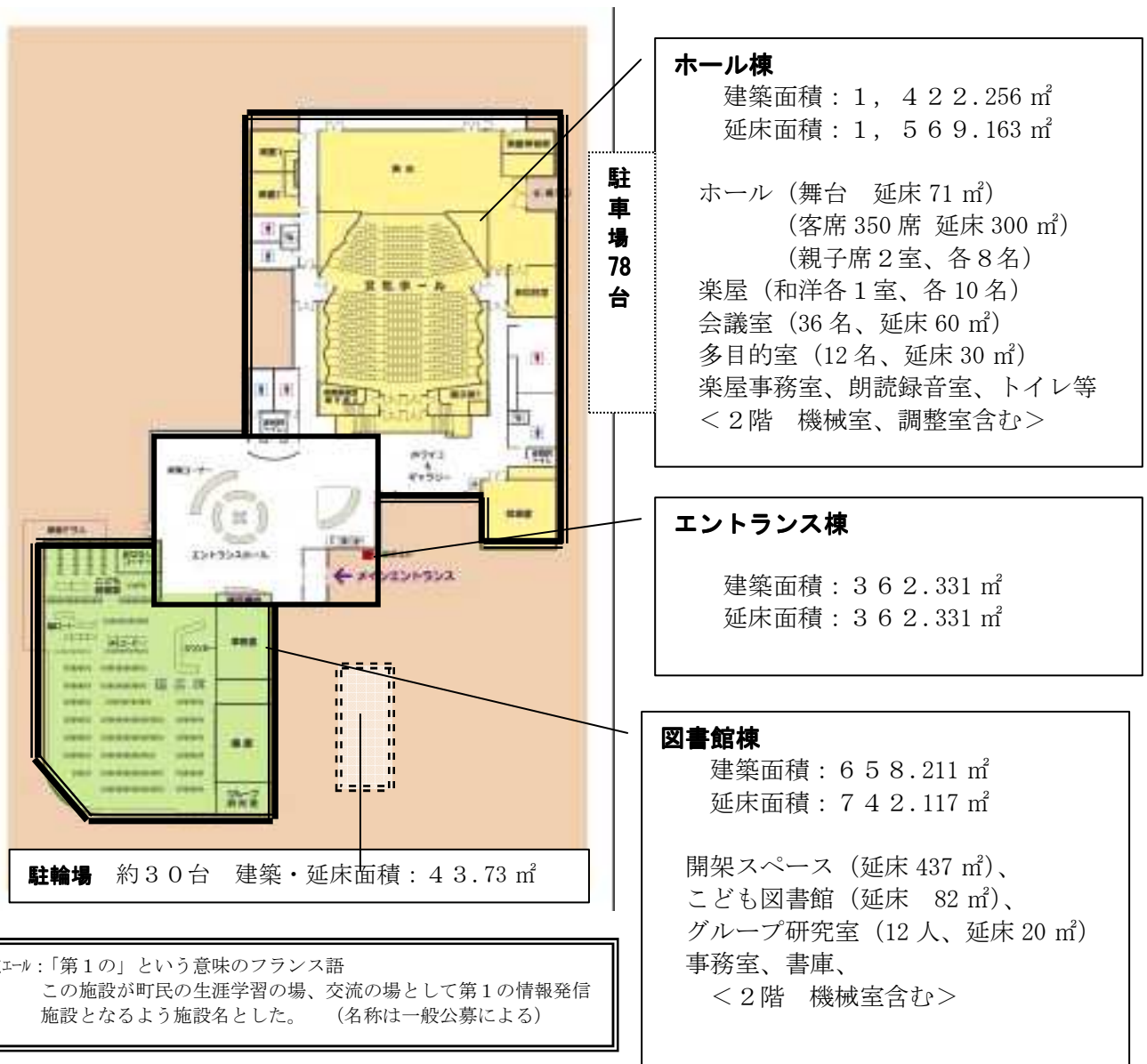
(4) 公民館施設利用状況

年 度	開館日数 (日)	利用件数 (件数)	利用人員 (人)	1日平均 (人)
21	297	4,036	50,951	172
22	293	3,907	49,060	167
23	298	3,731	49,687	167
24	299	3,699	48,778	163
25	308	3,692	48,461	157



9 プリミエール酒々井 施設概要

- 1 所在地 印旛郡酒々井町中央台3丁目4番1
- 2 施設用途 文化ホール(350席)、図書館(最大8万6千冊)、エントランスホール
- 3 階数 平屋建て、一部2階建て(機械室他)
- 4 構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造(文化ホール)
- 5 面積 敷地 約8,200㎡
 建築 施設 2,442.798㎡(全体 2,486.528㎡(※))
 延床 施設 2,673.611㎡(全体 2,717.341㎡(※))
 ※面積全体=施設+駐輪場
- 6 建設事業費 1,348,747千円
- 7 設計管理 (株)梓設計
- 8 施行 (1)建築工事:鹿島建設(株)(2)電気設備工事:モデン工業(株)
 (3)機械設備工事:富士電機総設(株)(4)造園工事:(有)立田造園
 (5)外構工事:鹿島建設(株)、新東建設(株)
- 9 工期 平成14年4月から平成15年6月
- 10 開館 平成15年9月13日(機関設置 平成15年7月1日)



1 運営方針

高齢化や自由時間の増大、情報化・国際化の進展など社会情勢の変化に伴い、生涯学習への関心が高まっている。プリミエール酒々井は町の生涯学習活動の拠点となる教育文化施設として、町民への情報援助、余暇活動支援など、新たな学習機会の発信施設として充実に努める。

2 開館時間等

開館時間 プリミエール酒々井(文化ホール等)午前 9 時から午後 5 時まで
(夜間利用がある場合午後 9 時まで)

酒々井町立図書館 午前 9 時から午後 5 時まで

休館日 月曜日 (祝日のときは開館)、祝日の翌日

(土日祝日の場合は平日に振替)、12 月 29 日から 1 月 4 日まで

* 図書館のみ休館 毎月第 3 木曜日 (館内整理日)、
特別整理期間 (年 10 日以内)

2 主要事業

(1) 文化ホール

①貸館事業

文化ホール等利用状況 (平成 25 年度)

文化ホール等施設使用統計

H25. 4. 1～ H26. 3. 31	施設利用		開館日数	入館者数	一日平均 入館者数
	回	人			
	566	23, 207	297	154, 107	519

プリミエール酒々井利用回数 H22～H25 年度比較

施設名	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
文化ホール	162	181	172	158
楽屋 (洋)	35	41	45	41
楽屋 (和)	36	34	24	3
会議室	222	248	217	193
多目的室	167	203	213	160
朗読録音室	41	27	16	20

主なイベント等

月	内 容	月	内 容
4月	ピアノ発表会 ことり児童合唱団コンサート 沖縄三線コンサート ピアノ・エレクトーン発表会	10月	プライベート
5月	バレエ発表会 春のまつり 文化協会チャリティーコンサート ピアノ発表会	11月	町民文化祭 オータムコンサート 町政報告
6月	ソプラノリサイタル 研修会 カラオケ発表会 ピアノ・エレクトーン発表会 交通運転管理者法定講習会 ピアノ発表会	12月	ピアノ発表会 民舞演秋のまつり 蛍雪学園クリスマス会 文化協会 30周年園芸発表会
7月	エレクトーン発表会 ピアノ発表会 酒々井中学校吹奏楽部練習 人権教育セミナー・図書館講演会	1月	名取試験 成人式 講演会 ピアノ発表会 一部会小中合同発表会 研修会
8月	人事評価研修会 平和を考える映画会 映写会 特別支援教育研修会 ピアノ発表会	2月	研修会 ダンス発表会 人権教育セミナー 地域福祉フォーラム
9月	ハワイアンフェスティバル カラオケ大会 老人福祉大会	3月	吹奏楽演奏会 昭苑幼稚園発表会 研修会 おじさんズライブ プライベート

(2) 図書館

①図書館資料

蔵書数 74,433 冊 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

平成 25 年度購入数

図書 2,636 冊

視聴覚資料 DVD25 点、CD28 点 計 53 点

購入金額 4,491,612 円

蔵書内訳

平成 26 年 4 月 1 日現在

区分	一般	児童	参考	郷土	AV	合計
0 総記	911	87	252	34	1	1,285
1 哲学	1,946	67	66	28	3	2,110
2 歴史・地理	5,219	646	331	414	17	6,627
3 社会科学	6,830	556	513	488	53	8,440
4 自然科学	4,109	1,236	207	109	15	5,676
5 技術・工学	5,019	441	104	92	22	5,678
6 産業	1,868	364	85	69	9	2,395
7 芸術	4,878	605	104	79	360	6,026
8 言語	859	174	238	9		1,280
9 文学	20,917	6,322	81	56	19	27,395
A AV					1,318	1,318
C 紙芝居		987				987
E 絵本	2	5,198				5,200
その他					16	16
合計	52,558	16,683	1,981	1,378	1,833	74,433
割合(%)	70.6	22.4	2.7	2.0	2.5	

②奉仕

平成 26 年 4 月 1 日現在

登録者数	貸出者数	貸出冊数	予約冊数	返却冊数	開館日数
7,858 人	33,373 人	110,945 冊	5,165 冊	105,033 冊	280 日
リクエスト冊数	借用				
703 冊	1,304 冊				
コピー		AVブース	グループ研究室	インターネット利用	
437 件	1,846 枚	693 人	3 件	17 人	1,505 人

貸出冊数の推移（H19～25年度）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
114,478 冊	118,399 冊	118,842 冊	107,859 冊	118,064 冊	117,423 冊	108,374 冊

町人口(平成 26 年 4 月 1 日現在) 21,482 人

町民登録率 32.5% 町民 1 人当たり貸出冊数 5.0 冊

団体貸出

町内の登録団体に対し、図書の貸出を行った。

* 団体貸出を受ける団体の要件等

町内の団体で、非営利の目的で図書を利用する場合に 1 団体

100 冊まで 4 週間貸出を受けることができる。

団体貸出の推移（H19～25年度）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
6,992 冊	6,705 冊	7,517 冊	4,906 冊	3,893 冊	3,298 冊	2,571 冊

資料

歴代教育委員

(1) 旧教育委員会法による委員

	氏名	就任期間	備考
1	蒔 文雄	S 2 7. 1 0 ~ S 3 1. 9. 3 0	委員長
2	福田 清衛	〃	
3	青木 忠雄	〃	
4	石渡 新治	〃	
5	岡田 徳治	〃	
6	根本 森治	S 2 7. 1 1. 1 ~ S 2 8. 3. 3 1	教育長
7	小倉 政雄	S 2 8. 4. 1 ~ S 3 1. 9. 3 0	教育長

(2) 地教行政法による委員

	氏名	就任期間	備考
1	京増 和	S 3 1. 1 0. 1 ~ S 3 3. 1. 3 1	委員長
2	飯沼 喜重	〃 ~ S 5 3. 9. 3 0	委員長 (S35. 10. 1 ~ S53. 9. 30)
3	武田喜一郎	〃 ~ S 3 8. 9. 3 0	
4	野谷 勘一	〃 ~ S 4 8. 9. 3 0	
5	相京 良助	〃 ~ S 3 5. 9. 3 0	教育長
6	篠原 重雄	S 3 3. 2. 6 ~ S 3 9. 9. 3 0	委員長 (S33. 2. 6 ~ S35. 9. 30) 教育長 (S35. 10. 1 ~ S39. 9. 30)
7	斉藤 秀雄	S 3 5. 1 0. 1 ~ S 3 7. 6. 1 2	
8	斉藤 円盛	S 3 7. 9. 1 1 ~ S 3 8. 6. 1 2	
9	竹尾 隆	S 3 8. 6. 1 3 ~ S 4 3. 9. 3 0	教育長 (S39. 10. 1 ~ S43. 9. 30)
10	藤崎 善学	S 3 8. 1 0. 1 ~ S 5 0. 9. 2 0	
11	蒔 富美代	S 4 0. 4. 2 2 ~ S 4 6. 9. 3 0	教育長 (S44. 1. 15 ~ S46. 9. 30)
12	斉藤 一郎	S 4 3. 1 2. 2 0 ~ S 5 1. 1 2. 2 1	
13	福田 正吉	S 4 6. 1 0. 1 ~ S 6 0. 4. 2 1	教育長
14	青木 一雄	S 4 8. 1 1. 1 2 ~ H 3. 1 2. 2 2	委員長 (S53. 10. 1 ~ H3. 12. 22)
15	高須賀辰之助	S 5 0. 1 0. 1 ~ H 1 5. 9. 3 0	委員長 (H4. 1. 1 ~ H8. 9. 30)
16	京増 和治	S 5 1. 1 2. 2 0 ~ S 5 9. 1 2. 1 9	
17	藤崎 達男	S 5 3. 1 0. 1 ~ H 1 4. 9. 3 0	委員長 (H8. 10. 1 ~ H12. 9. 30)
18	木村 幸子	S 6 0. 3. 2 0 ~ H 9. 3. 1 9	
19	綿貫登喜夫	S 6 0. 4. 2 2 ~ H 9. 4. 2 1	教育長
20	西郡 義三	H 4. 3. 1 6 ~ H 1 7. 1 2. 1 7	委員長 (H12. 10. 1 ~ H17. 9. 30)
21	藤崎美津江	H 9. 3. 2 0 ~ H 2 1. 3. 1 9	委員長 (H17. 10. 1 ~ H20. 9. 30)
22	津田 藤人	H 9. 4. 2 2 ~ H 1 1. 3. 3 1	教育長
23	伊藤 祐司	H 1 1. 4. 1 ~ H 1 6. 3. 3 1	教育長
24	坪内 東公	H 1 4. 1 0. 1 ~ 現在に至る	委員長 (H20. 10. 1 ~ H24. 9. 30)
25	小山 優子	H 1 5. 1 0. 1 ~ 現在に至る	
26	津田 藤人	H 1 6. 4. 1 ~ H 1 9. 4. 3 0	教育長
27	大谷 文男	H 1 8. 4. 1 ~ H 2 6. 3. 3 1	委員長 (H24. 10. 1 ~ H26. 3. 31)
28	浦壁 京子	H 2 1. 3. 2 4 ~ 現在に至る	委員長 (H26. 4. 1 ~ 現在に至る)
29	子安 昌人	H 2 1. 4. 2 2 ~ H 2 3 3. 3 1	教育長
30	東條三枝子	H 2 3. 4. 1 ~ H 2 5 3. 3 1	教育長
31	落合 繁夫	H 2 5. 4. 1 ~ 現在に至る	教育長

就学指導委員会

任 期（平成25年4月1日から平成27年3月31日）

番号	氏 名	備 考
1	浦 壁 京 子	学識経験者
2	京 増 法 子	学識経験者
3	小 川 正 克	学識経験者
4	市 村 公 道	学校医
5	倉 石 公 路	学校医
6	藤 原 聖 士	酒々井小学校長
7	新 垣 豊 彦	大室台小学校長
8	齋 藤 喜 一	酒々井中学校長
9	平 沢 勝 俊	酒々井小学校特別支援教育担当者
10	相 川 智 子	酒々井小学校特別支援教育担当者
11	小 川 利 明	大室台小学校特別支援教育担当者
12	折 原 光 子	大室台小学校特別支援教育担当者
13	小野田 美 恵	酒々井中学校特別支援教育担当者

学校医・学校歯科医・学校薬剤師

酒々井小学校

番号	氏 名	備 考
1	市 村 公 道	学校医
2	寄 藤 和 彦	学校医
3	野 本 達 夫	学校医（耳鼻科）
4	呉 輔 仁	学校医（眼科）
5	宮 野 貴	学校歯科医
6	日 良 勝 範	学校歯科医
7	寺 蘭 史 子	学校薬剤師

大室台小学校

番号	氏 名	備 考
1	前 田 幸 輝	学校医
2	市 村 公 道	学校医
3	寄 藤 和 彦	学校医
4	野 本 達 夫	学校医（耳鼻科）
5	呉 輔 仁	学校医（眼科）
6	梅 村 義 成	学校歯科医
7	前 田 英 作	学校歯科医
8	石 井 美 帆 子	学校薬剤師

酒々井中学校

番号	氏 名	備 考
1	東 澄 典	学校医
2	倉 石 公 路	学校医
3	野 本 達 夫	学校医（耳鼻科）
4	呉 輔 仁	学校医（眼科）
5	安 部 秀 彦	学校歯科医
6	小谷野 純 一	学校歯科医
7	石 井 道 子	学校薬剤師

学校給食センター運営委員会

任期（平成25年4月1日～平成27年3月31日）

番号	氏名	備考
1	藤原 聖士	酒々井小学校長
2	◎新垣 豊彦	大室台小学校長
3	齋藤 喜一	酒々井中学校長
4	○蒔 吉弘	酒々井小学校PTA会長
5	金塚 学	大室台小学校PTA会長
6	福田 正明	酒々井中学校PTA会長
7	寄藤 和彦	学校医
8	江澤 眞一	町議会議員
9	小別當 ひろ子	学識経験者

◎委員長 ○副委員長

社会教育委員会

任期（平成25年4月1日～平成27年3月31日）

番号	氏名	備考
1	齋藤 喜一	酒々井中学校長
2	藤原 聖士	酒々井小学校長
3	羽生 愛子	スポーツ推進委員連絡協議会
4	子安 祥子	婦人会
5	木村 和夫	学識経験者
6	小池 秀和	学識経験者
7	◎吉田 和子	学識経験者
8	○石田 準一	学識経験者
9	齊藤 千夏	学識経験者

◎委員長 ○副委員長

生涯学習推進会議 兼務

文化財審議会委員

任期（平成26年4月1日～平成28年3月31日）

番号	氏名	備考
1	鈴木満壽男	仏教美術
2	高木正浩	郷土史
3	○高橋健一	歴史考古
4	稲坂徳太郎	鍛造技術
5	犬島正子	植物、植生
6	◎岡田利光	郷土史
7	酒井照法	仏教美術・東光寺住職
8	川端弘士	考古学
9	中澤恵子	近・現代史
10	山本孝一	郷土史

◎会長 ○副会長

青少年問題協議会

任期（平成25年5月10日～平成27年5月9日）

番号	氏名	備考
1	◎小坂泰久	町長
2	金塚学	町議会議員
3	落合繁夫	教育長
4	松山忠雄	佐倉警察署生活安全課長
5	大谷文男	少年指導員
6	蒔みどり	民生委員児童委員協議会
7	石田準一	社会教育委員
8	寺本恵美	婦人会
9	原靖明	青少年相談員連絡協議会
10	吉田和子	更生保護女性会
11	渋江俊雄	東京学館高等学校
12	齋藤喜一	中学校代表
13	新垣豊彦	小学校代表
14	赤地忠勝	健康福祉課長
15	池田幸夫	学校教育課長

◎会長

青少年相談員連絡協議会

任期（平成25年4月1日～平成28年3月31日）

番号	氏名	備考
1	○松本光幸	8期
2	◎原靖明	7期
3	日笠智一	6期 会計
4	○相京輝彦	5期
5	松本映彦	5期 監事
6	喜多見和彦	3期
7	森田裕司	3期
8	田仲信也	3期
9	戸田淳	3期
10	篠原孝明	2期
11	鈴木研也	2期
12	曾良俊洋	1期
13	玉井智拓	1期

◎会長 ○副会長

同和对策集会所運営委員会

任期（平成25年6月6日～平成27年6月5日）

番号	氏名	備考
1	酒瀬川健一	町議会議員
2	木村和夫	社会教育委員会
3	羽生愛子	社会教育委員会
4	齋藤照一	民生委員児童委員協議会
5	藤原聖士	酒々井小学校長
6	齋藤喜一	酒々井中学校長
7	柏木金治	地元
8	谷川恒司	地元
9	○吉田一男	地元
10	原靖明	青少年相談員連絡協議会
11	喜多見和彦	青少年相談員連絡協議会

◎委員長 ○副委員長

人権教育推進協議会

任期（平成25年4月1日～平成27年3月31日）

番号	氏名	備考
1	平澤昭敏	町議会議員
2	柏木金治	同和問題に関する識者
3	谷川恒司	同和問題に関する識者
4	○吉田一男	同和問題に関する識者
5	鎌田行平	千葉県人権啓発センター
6	藤原聖士	酒々井小学校長
7	倉部哲也	酒々井小学校
8	◎新垣豊彦	大室台小学校長
9	畑有紀子	大室台小学校
10	齋藤喜一	酒々井中学校長
11	堀江修一	酒々井中学校
12	齊藤千夏	社会教育委員会
13	子安祥子	婦人会
14	赤地忠勝	健康福祉課長

◎会長 ○副会長

公民館運営審議会

任期（平成24年10月1日～平成26年9月30日）

番号	氏名	備考
1	藤原聖士	校長会
2	丸山正義	文化協会
3	岩崎利美	文化協会
4	寺本恵美	婦人会
5	—————	商工会
6	金塚学	P T A連絡協議会
7	蒔みどり	民生委員児童委員協議会
8	◎佐藤修二	町議会議員
9	地福美枝子	町議会議員

スポーツ推進委員連絡協議会

任期（平成25年4月1日～平成27年3月31日）

番号	氏名	備考
1	◎酒井康博	
2	○松元健一	
3	○羽生愛子	
4	飯田芳朗	監事
5	松本文男	
6	佐藤和彦	
7	土橋繁明	
8	岸野幸雄	
9	小早稲美穂	
10	柴田憲子	
11	菅谷弘行	
12	大岸武志	
13	北村真紀	

◎委員長 ○副委員長

健康体力づくり推進員連絡協議会

任期（平成25年4月1日～平成27年3月31日）

番号	氏名	備考
1	◎大谷文男	
2	○那須陽子	
3	○鳥海房子	
4	三橋好子	会計
5	小島つや子	監事
6	松本光幸	
7	相京輝彦	

◎会長 ○副会長

酒々井町体育協会

任期（平成25年6月1日～平成27年5月31日）

	氏名	備考	番号	氏名	備考
1	◎佐藤修二	卓球	22	八巻隆	理事 ソフトテニス
2	○石井國治	ソフトボール	23	吉田美成子	理事 ソフトテニス
3	○篠原建夫	ソフトテニス	24	大谷通男	理事 剣道
4	○安田文雄	理事長 兼務 陸上	25	梅村益司	理事 剣道
5	小出由里子	副理事長 空手道	26	鈴木正一	理事 柔道
6	石井中	監事 ソフトボール	27	金子俊夫	理事 柔道
7	木内達彦	監事 生涯学習課長	28	藤崎亨祐	理事 ゴルフ
8	森田静子	会計 バドミントン	29	竹田陽	理事 ゴルフ
9	宮崎典子	会計 バレーボール	30	今井徹	理事 テニス
10	京増郁夫	理事 陸上	31	長谷川三雄	理事 テニス
11	土橋繁明	理事 陸上	32	山田悦子	理事 ソフトボール
12	宗島治夫	理事 軟式野球	33	相京祥平	理事 バドミントン
13	齊藤歩	理事 軟式野球	34	山内立美	理事 空手道
14	佐々木宏光	理事 卓球	35	佐藤順子	理事 空手道
15	池田一男	理事 卓球	36	白鳥忠雄	理事 ゲートボール
16	荒井拓	理事 バスケットボール	37	執行正勝	理事 ゲートボール
17	宮野翔太	理事 バスケットボール	38	内海五郎	理事 クレー射撃
18	京増重利	理事 弓道	39	三橋栄吉	理事 クレー射撃
19	大谷真一	理事 弓道	40	筋吉弘	理事 サッカー
20	大岸武志	理事 バレーボール	41	石渡慎二	理事 サッカー
21	綾田奈津子	理事 バレーボール	42	宮岡三郎	理事 グラウンドゴルフ
			43	清宮邦一	理事 グラウンドゴルフ

◎会長 ○副会長

平成26年度 酒々井の教育

発行日 平成26年9月

発行 酒々井町教育委員会

編集 酒々井町教育委員会事務局

千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11

電話 043-496-1171